

久米邦武編『特命全権大使米欧回覧実記』（1878）から、図版と、本文の図版に関連する部分を抜き出したものです。

## 第三編 欧羅巴大洲ノ部 上

### 目次

第三編 第四十二卷	パリ/巴黎	2
第三編 第四十三卷	パリ/巴黎	16
第三編 第四十四卷	パリ/巴黎	20
第三編 第四十五卷	パリ/巴黎	24
第三編 第四十六卷	パリ/巴黎	30
第三編 第四十七卷	パリ/巴黎	32
第三編 第四十八卷	パリ/巴黎	34
第三編 第五十卷	ベルギー/白耳義	36
第三編 第五十一卷	ベルギー/白耳義	41
第三編 第五十三卷	ハーグ・ロッテルダム・ライデン/海牙鹿特坦及ヒ来丁	45
第三編 第五十四卷	アムステルダム/奄特坦	51
第三編 第五十六卷	プロシア西部鉄道/普魯士西部鐵道	54
第三編 第五十七卷	ベルリン/伯林	56
第三編 第五十八卷	ベルリン/伯林	60
第三編 第六十卷	ベルリン・ポツダム/伯林府・ポツダム	62

## 巴黎ノ凱旋門



明治五年十一月十七日

雨

英国秋冬ノ際ハ、常ニ陰霧濛濛トシテ、半ハ夜ヲナス、其中ヨリ来リテ巴黎ニ入レハ、氣象恢濶ヲ覚フ、殊ニ巴黎中ニ於テ、高燥ニシテ荘麗ナリト称スル、「アルチツリヨム」ノ広衢前ニ寓シタレハ、猶雲霧ヲ披キテ、天宮ニ至リシ心地スルナリ、此日ハ陰雨ニテ遊出ニ宜シカラサレトモ、空氣濛濛ナラサレハ、寓館ノ楼ヨリ、眺望モ亦佳ナリ、

「アルチツリヨム」トハ、凱旋門ト訳ス〈西洋ノ築造ニ彎弧形ニ門口ニ関クヲ「アルチ」ト云、羅馬ノ古ヘ盛シニ土木ヲ起シ其屋壁柱礎今ニ儼然トシテ存スルモノ多シ、往往ニ石ヲ疊ミ彎弧形ヲナシ頂ヘ輻輳シ十字ヲナシ全屋ヲ完成セリ、其術ハ劈力ノ理ニ合シテ牢固ニテ壯美ナリ、之ヲ名ケテ十字形ノ「アルチ」ト云〉、羅馬府ニ残ル所ノ「アルチ」ノ門、結構甚タ精ニ、建築家ノ法ヲ取ル所ニテ、歐洲ノ各都府ニテ、之ヲ模造シテ、府中ニ建テ、美觀トナス、此凱旋門モ亦然リ、

此門ノ造営ハ、拿破侖第一世ノ經營セル所ナリ、一千八百年ノ初メニ、拿破侖ハ已ニ以太利、奧地利ノ諸国ニ打勝テ、威名歐洲ニ轟キ、俘獲山ノ如シ、其殊勲ヲ不朽ニセント、大ニ巴黎府ノ修築ニカヲ尽シ、此辺一帶ノ屋廬ヲ取除ケテ、濶大ノ広街ヲ開キテ、髮ノ直キカ如ク、其王宮ニ達セシメ、八面ノ広街輻輳ノ処ニ、円径約我二町ニ及フ広衢ヲ開キテ、其中央ニ此門ヲ建タリ、

門ノ高サ四十「メートル」、正面ノ幅二十「メートル」、側面ハ是ニ半ハス、正面ニ高サ十五「メートル」ノ「アルチ」ヲ開ク、側面ハ稍狭小ナリ、故ニ門ノ中央ニハ十字ニ道ヲ通シ、地ニ白石ヲ甃シ、上層モ白石ヲ疊ミテ穹宇トナス、殊ニ高朗ナリ、門ノ四周ハ、砌ヲ径八十「メートル」ノ円形ニ匝シテ、石ヲ甃シ、短柱石アリ、頭ヨリ大鉄鎖ヲ張り垂ルハ、石壁ノ外面ニハ、神人ヲ画シ、戦勝ヲ図シテ、其彫刻ミナ精技ヲ極メタリ、内面ニハ戦功ノ碑文ヲ勒ス、此門ノ位置ハ、府中ニ於テ高台ノ地タリ、故ニ兀然トシテ、万竈鱗ノ如キ内ヨリ出テハ、府ノ表的トナル、実ニ非常ノ大建築ナリ、路易非立王ノ代ニ、今ノ大統領「チエル」君ノ尽力ニテ、其工作ヲ竣メタリ、故ニ落成ヨリハ、僅ニ三十五年ヲスキタルノミ、往年ニ普魯西ノ軍兵巴黎ヲ囲ミシトキ、軍中ニ令シテ、此門ニ向ヒテ砲発スルコトヲ禁シ、圍城ヲ畢ルマテ、一点ノ瑕モ負ハサリシニ、其後「コンミュン」ノ乱トテ、国内ニ一揆起リテ、政府ニ抗抵シ、府中ノ大乱トナリ、其時ニ民党ノ一揆トモ、此門ニ大砲ヲ上セテ砲台トナシテ、北ニ向ヒテ「ウェルサイル」「モンワレヤン」ヲ射テ拒戦ナシタル故ニ、政府ヨリ已ヲ得ス、砲ヲ打掛ケテ之ヲ攘ヒ退ケタリ、此時ニ北方ノ一面毀傷セルヲ以テ、当時ハ修覆中ナリケリ、

門内ニ螺旋ノ階アリテ、門頂ニ上ルヘシ、此ニ登リテ一臨スレハ、巴黎府中ノ地、ミナ森森トシテ指点ノ下ニ環拱シ、米ヲ聚メルカ如ク、大都ノ繁華ヲ領略スヘシ

## 同凱旋門通り



明治五年十一月十七日

百年以前マテハ、此府ノ街路狭隘ニテ、屋廬モ大小相雜リ、妍醜錯雜ニテアリシニ、第一世拿破侖、絶倫ノ大威力ヲ以テ、各国ニ捷テ収メタル財宝ヲ傾ケテ、此府ノ觀美ヲ輝サント、遂ニ矮屋小舎ヲ毀チ、中ニハ大廈ヲ取除ケテ、其宮前ヨリ、北郭マテ、長サ約三英里ノ域ヲ改修シテ、白石ヲ以テ、雲ニ聳ヘル傑閣ヲ連ネ、凱旋門ヲ心点トシテ、四面二十二条ノ広街ヲ開キ、其中ニモ、正面ヲ貫キ、宮門ニ達スル街ハ、其濶百二十余「メートル」、名ケテ「シヤンセルゼー」ノ大路ト云、直線ニ「コンゴルト」苑ニ達ス、左右ニハ樹ヲ植ヘルコト左右各両条ツヽニテ、人ヲ樹間ノ清蔭中ニ歩セシム、夜ハ瓦斯燈ヲ其砌ニ輝カス、燦トシテ連珠ノ如ク、雲ニ際シテ点点タリ、博物觀、博覽会等、此苑中ニ建築シ、傑閣路ヲ挾ミ、「セイソ」河岸ニ聳エ、華煥目ヲ輝カス、一帶ノ路ハ、小石ヲ以テ地ヲ固築シテ、其上ニ織沙ヲ撒ス、皎皎トシテ洗フカ如シ、樹間ノ歩道ニハ、中ニ一條ノ石片ヲ敷ク、熟視スレハ石ニアラス、巴黎新法ノ叩キ土ナリ、是ハ「テール」ノ種類ニテ、土沙ヲ煉リ、鞏固シテ石ヲナシタルモノナレハ、路ヲ竟フルマテ、合縫ノ処ナシ、其他此ヲ環ル四周ノ街路ハ、ミナ此法ヲ以テ路ヲ修ム、車走リテ声ナシ、倫敦ノ街ハ、車輪ノ響キ耳ニ喧シクシテ、馬蹄ノ音ヲキカス、巴黎ノ衢ハ、車輪響キナクシテ、馬蹄ノ音ノ来ルノミ

## 巴黎「コンゴルト」苑ノ「オブリスキ」塔〈埃及塔トモ云〉



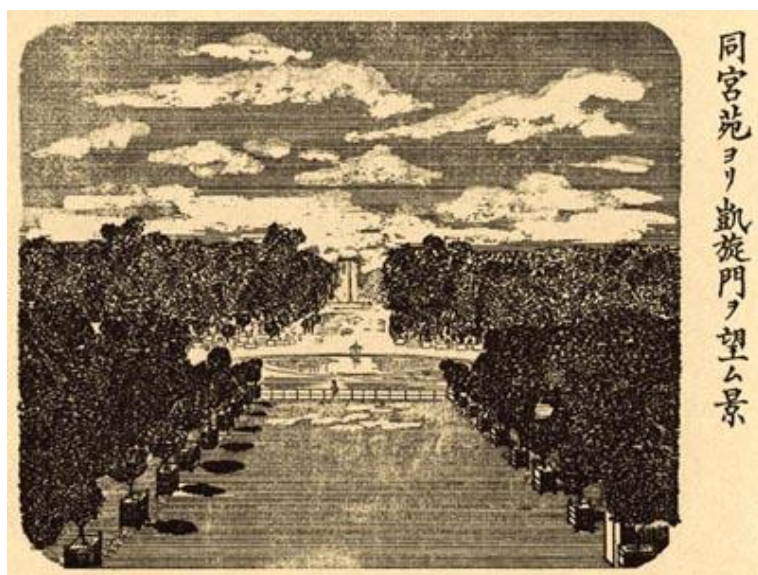
明治五年十一月十七日

凱旋門ノ正中ヨリ、「シャンゼルゼー」ノ広衢ヲスキ、其衝当ニ「チュロリー」宮アリ、宮門ノ前ニ、又一場ノ広区ヲ開ケルヲ、「コンゴルト」ノ苑ト云フ、巨大ナル石磐ヲオキ、水ヲ噴跳シ、石彫ノ大像盤ヲ環シテ立ツ、中央ニハ埃及国ヨリ遷シタル「オブリスキ」塔ヲ建タリ、塔ノ高サ二十六「メートル」、紫紋ノ一本石〈所謂花剛石ナリ〉ニテ造リタル古代ノ塔ナリ、此塔ハ埃及国ノ古物ニテ、元地底ニ埋没セルヲ、一千七百九十九年、拿破侖第一世埃及ヲ併セシトキ、器械ヲ以テ掘出シ、此地ニ持来リ建タリ、其雛形ハ「ルーヴル」宮ニ存ス、其時ニ塔基ノ辺少シ欠タルハ、白壁ノ微瑕ト云ヘシ、一千七百九十二年ノ一揆ノトキ、「キョツチン」ト云器械ヲ仕掛ケテ、夥多シキ無辜ヲ殺戮セルハ、乃此処ナリト、此苑昼ハ明沙雪ノ如ク、地ニ絨塵ヲ潔シトセス、緑樹嵐ヲオクリ、層楼傑閣ハ、其杪上ニ露ル、夜ハ気燈ヲ点スレハ、天球ノ倒ニ浸スカ如ク、「シャンゼルゼー」ノ大道ニ、燈球貫珠シテ連ルハ、身ヲ畫中ニオク心地ソスル

## 巴黎「チュロリー」宮ノ桜門



## 同宮苑ヨリ凱旋門ヲ望ム景

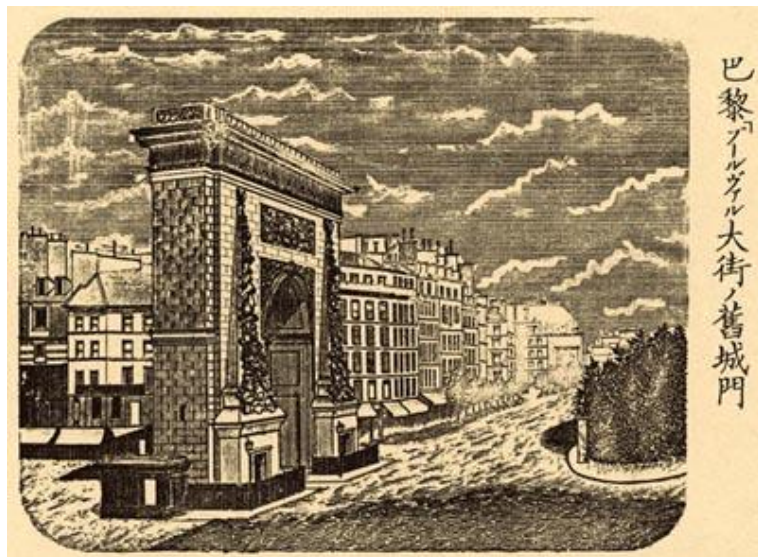


明治五年十一月十七日

「オブリスキ」塔ト、凱旋門ト、直線相向フ正面ニ「チュロリー」宮門ヲ開キ、中ニ美麗ナル広苑ヲ抱キテ、「チュロリー」宮ハ起レリ、宮中ヨリ望メハ、「コンゴルト」苑ノ塔尖ハ、遙ニ凱旋門ヲ貫キ、其快美ノ景ハ謂ン方ナシ、此宮ハ一千五百六十五年ニ、「カタリナ、デ、メジシス」后、始メテ築キ起セルヲ、顛理第四世ノ代ニ広拡シ、路易第十四世ノ代ニ、其壮美

ヲ極メ、爾後先廢帝拿破侖第三世マテ、此ヲ居宮トナセリ、正面ノ幅三十三「メートル」、側面三百「メートル」、先年「コムミュン」ノ乱ニテ敗毀シ、殿宇狼藉、正ニ修覆中ナリ

## 巴黎「ブールヴァル」大街ノ旧城門

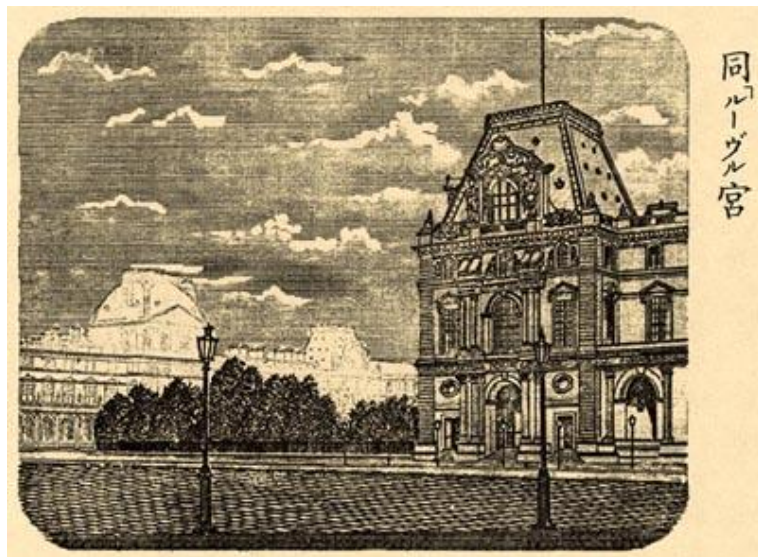


明治五年十一月十七日

「オブリスキ」塔ノ東ハ、「ブードワルデ、イタリヤン」トイフ爽街アリ、巨大ノ市塵、壁ヲ比シテ立ち、高サ五層ヨリ七層ニ至ル、巴黎第一ノ美麗ナル街ナリ、巴黎ハ紀元前、羅馬ニ征服セラレシトキ、該撒ハジメテ此ニ城ヲ起シ、「パリシオラン」トイヘリ、其後次第ニ増築シテ、遂ニ此大都トナリタリ、此「ブードワル」ハ、其時ノ外廓ニテ、墨壁ヲ匝シタルヲ、拿破侖第一世、毀ツテ此街ヲ開ケリ、今ニ古代ニ建築セシ石門、処処ニ遺存セリ



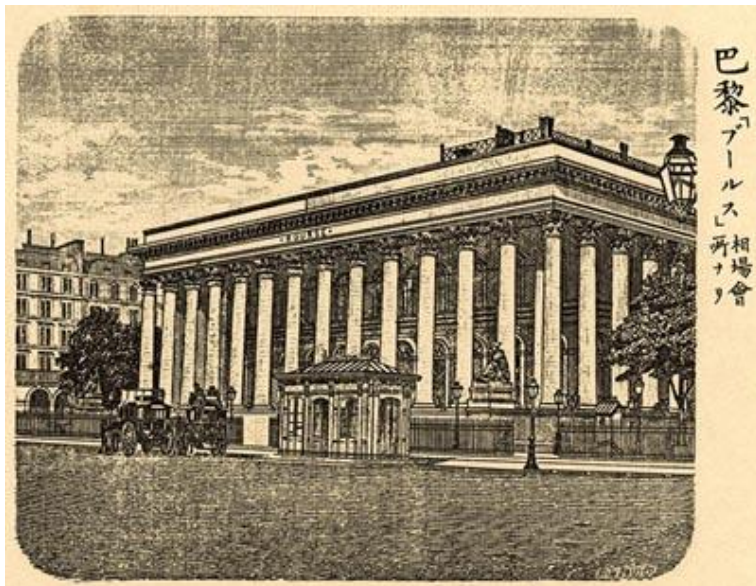
## 同「ルーヴル」宮



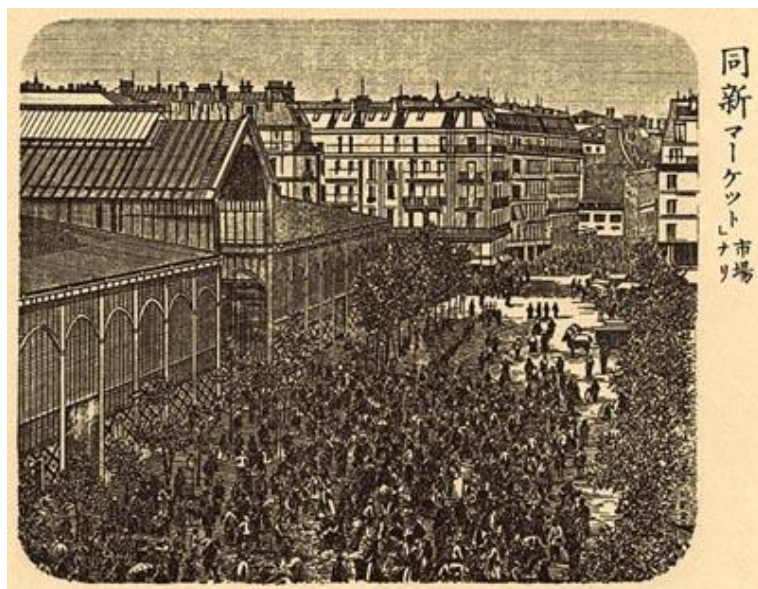
明治五年十一月十七日

「チュロリー」宮ノ背後ニ連リテ、「ルーヴル」宮アリ、是ハ路易第十四世ノ代ニ築ク所ニテ、拿破侖第一世之ヲ修増シテ、「チュロリー」宮ト接連シタリ、前年ノ戦ニ此宮ハ完全ニ存シ、中ニ拿破侖第一世ノ遺物、名画、古器、雛形、諸械ヲ蓄ヘ、宝庫トナシ縦観セシム、殿宇峻巍ニシテ、雕絵満眼、金華爛然タリ

巴黎「ブールス」〈相場会所ナリ〉



## 同新「マーケット」〈市場ナリ〉

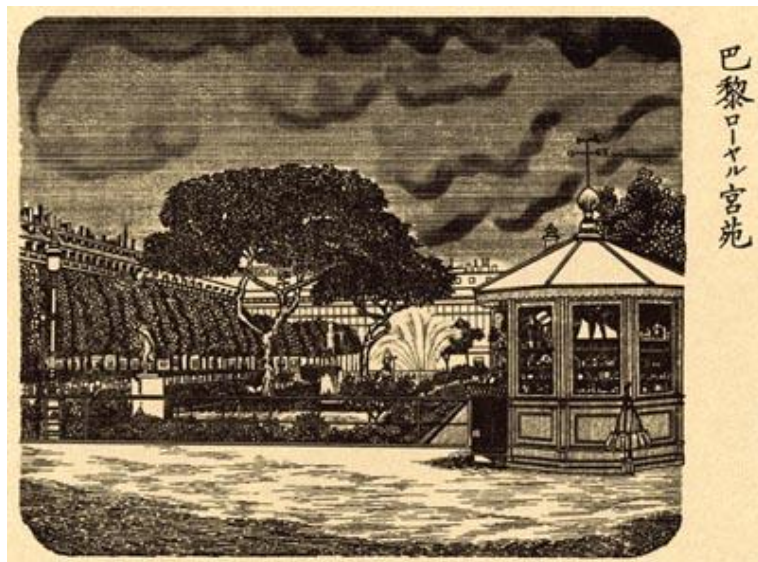


明治五年十一月十七日

此他「シチー」ノ旧街ハ、首尾不規則ニ交叉シ、其狭隘ナルニ至リテハ、両車モ容ル能ハス、此小街ノ上ヲ、玻璃ニテ上宇ヲ覆ヒタル所アリ、常ニ日光ヲ透シテ、風雨ヲ漏サス、常晴ノ街路ナリ、両側ノ塵ニ、百貨ヲ雜陳シテ売ル、陳ヲ化シ新トナス、是ヲ巴黎風ノ街トテ、白耳義、及ヒ伯林府ニモ摸ス、亦一ノ繁華市場ニテ、往来ノ人、ミナ車ヲステ、此ニ集リ、陰晴風雨ノ日モ、徐歩徘徊、物ヲ買フヘシ、

巴黎ノ市中ハ、到处ニ酒店、割烹店、茶、珈琲店アリ、樹陰ニ榻ヲオキ、遊客案ヲ対シテ飲ム、盛夏ニ涼ヲ納レ、晴夕ニ月ヲミル、劇場、樂堂、处处ニアリ、所謂ル歌舞終日無戚容ノ氣象ヲ顯セリ

## 巴黎「ロイヤル」宮苑



明治五年十一月十七日

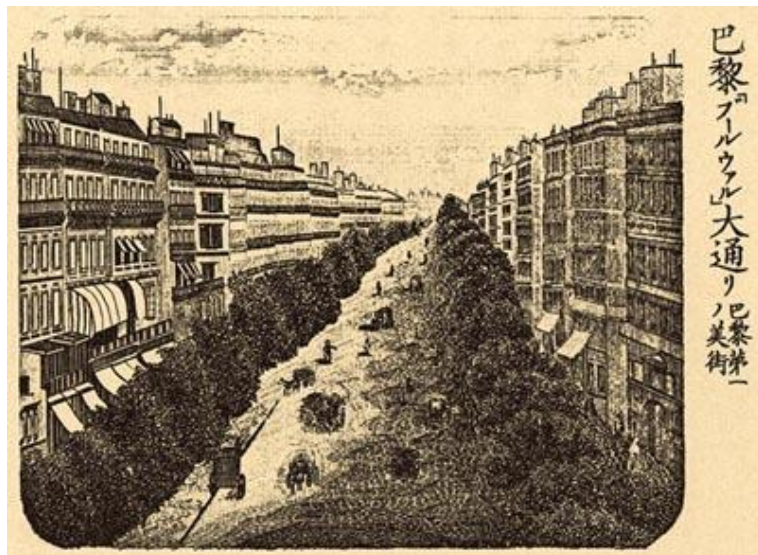
中ニモ「パレイロイヤル」宮ハ、中央ニ方庭ヲ抱キタル、大宮苑ナリシヲ、路易第十四世ノ宰相、有名ノ経済家ナル「リセリユー」ノ工夫ニテ、下層ヲ市塵トナシ、百貨ヲ鬻カシメタリ、此处ニハ珍玩、奇器、奢靡ノ品、風流ノ具、金光玉華ヲ聚メテ、攤陳シ売リ、酒店、食店、其中ニ雜リ、中央ノ方庭ニハ、緑樹陰ヲ展ヘ、夜ハ気燈ヲ照シ、四圍ノ市塵ヨリ、百貨ノ光彩ヲ輝カスハ、黄金ノ氣、庭ヲ包ンテ起ルトモ謂フヘシ

同門 〈「ポールト、サン、マルチン」門〉

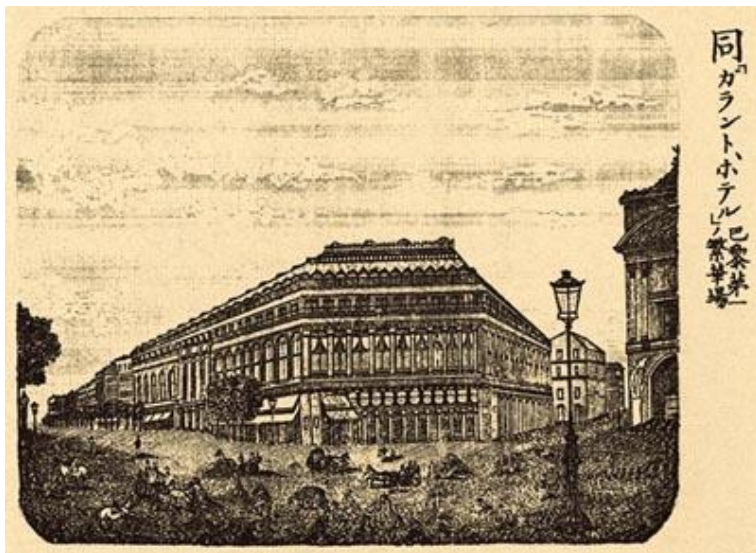


同門  
ポールト、サン、  
マルチン門

巴黎「ブールヴァル」大通り 〈巴黎第一ノ美街〉



同「ガラント、ホテル」〈巴黎第一ノ繁華場〉



## 仏国「ヴェルサイル」宮ノ「オペラ」堂〈当時ハ議政院トナレリ〉



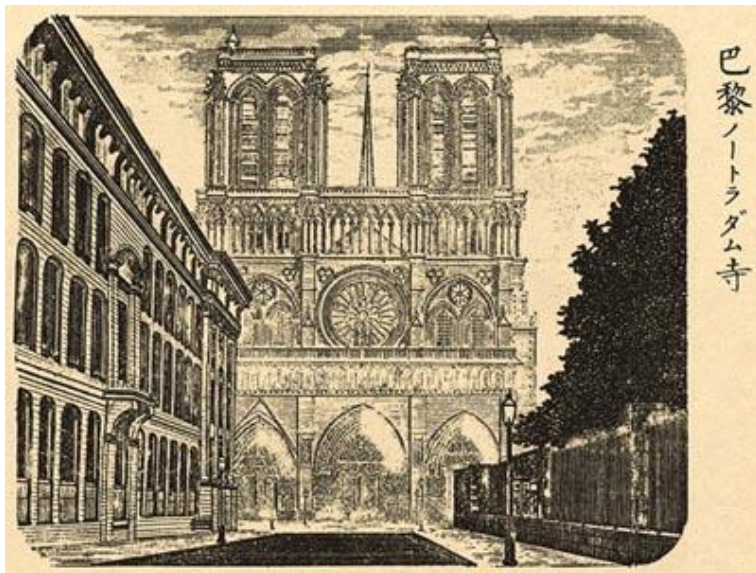
明治六年、一月一日

即チ一千八百七十三年、一月一日 陰

此日新年ノ賀祝トシテ、「ヴェルサイル」ニ赴ク、「ヴェルサイル」府ハ、巴黎府ノ西北ニアリ、汽車ノ往来一時ヲ費サス、府中ノ人口十萬ニスク、路易第十四世ノ宮殿アリ、甚タ宏麗ナリ、地形ハ岡阜ニヨリ、「モンワレヤン」山ノ砲台ヲ隔テ、巴黎ト相望ム、形勢壮ナリ、前年普軍ノ巴黎ヲ囲ムニ当リ、巴黎ノ政府ハ、西南「ボルドウ」府ニ立退キ、普王ハ本陣ヲ「ヴェルサイル」ニスエタリ、七十一年一月、日耳曼聯邦ノ王公、ミナ勸進ノ表ヲ上リテ、普魯士王維廉陛下ヲ、日耳曼帝位ニ推戴シタルモ、此宮ニ於テセリ、兩國和成リ、普国軍ヲカヘシ、仏国今ノ大統領「チエル」君ヲ推立シ、共和政治ヲ建テ、政府ヲ巴黎ニ復センコトヲ議ス、時ニ巴黎府ニハ「レット、レポブリカン」ノ党〈暴発ノ共和党、所謂「コムミュン」〉、正ニ煽動シ、騒擾安カラス、「ボルトウ」府ハ西南ニ偏在シ、規模陋小ニシテ、全国ヲ控御スルニ足ラス、「チエル」君見ヲ定メ、「ヴェルサイル」宮ニ政府ヲ設ケ、其「オペラ」堂ヲ以テ議院トナシタリ、爾後已ニ二年ヲ経タリ、「レットレポブリカン」党ノ巴黎ヲ乱妨スルコト、二月ニ及ヒ、常ニ兵ヲ西ニシテ、「ヴェルサイル」ヲ襲撃センコトヲ謀リタレトモ、政府鐵路ヲ絶チ、道路ヲ塞キ、「モンワレヤン」ヲ阻シテ、之ヲ掩圧ス、賊近ツク能ハス、諸道ノ兵集リ、一時ニ掩塵シテ、賊徒ヲ勦絶シタルハ、「チエル」君ノ本謀ナリ、仏国ノ政府ヲ共和ニ変セシヨリ、僅ニ二年ニ満タス、其憲法ハ当時協議中ニテ、未タ定マラス



## 巴黎「ノートルダム」寺

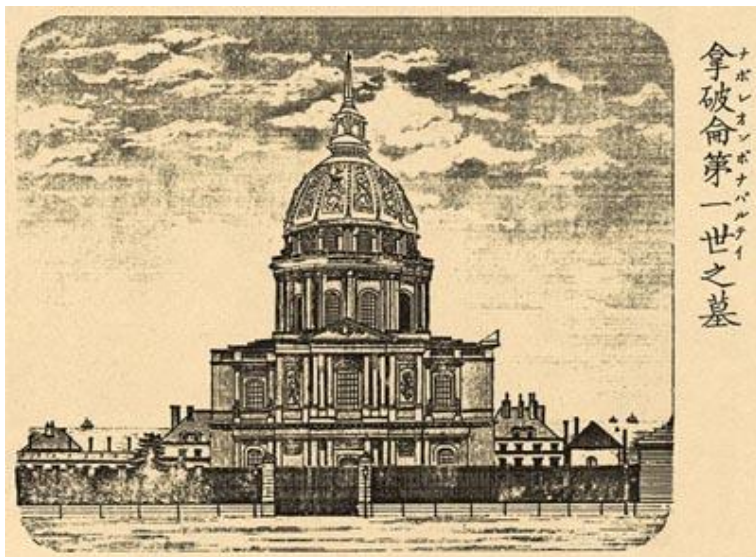


明治六年一月二日

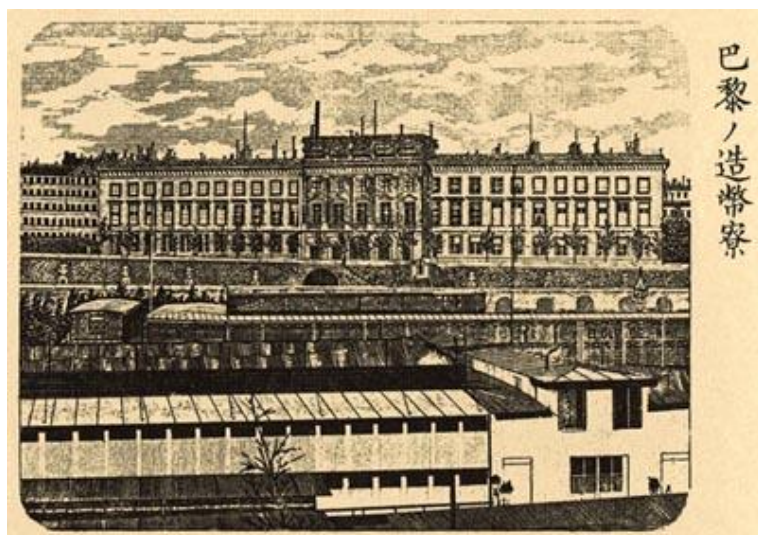
陰

大使ハ、外務省ニ至リ、賀正ス、副使ハ接伴掛「マーシャル」氏案内ニテ、「ノートルダム」寺ヲ回覧ス、此寺ハ、巴黎諸寺ノ内ニテ、第一ト称スル壯麗ナル寺ナリ、「セイン」河ノ西浜ニアリ、前面ニ双尖ノ高塔ヲ築キ起ス、外壁ノ雕刻、藻眼、精工風到ヲキハメ、内景ノ輪奐、藻繪満面ニシテ、金光爛然、目ヲ輝カサヽルナシ、一双ノ塔頂ハ、未タ完成ニ及ハサレトモ、実ニ美觀ヲ極メタリト云ヘシ

# 拿破侖第一世之墓



## 巴黎ノ造幣寮



明治六年一月七日

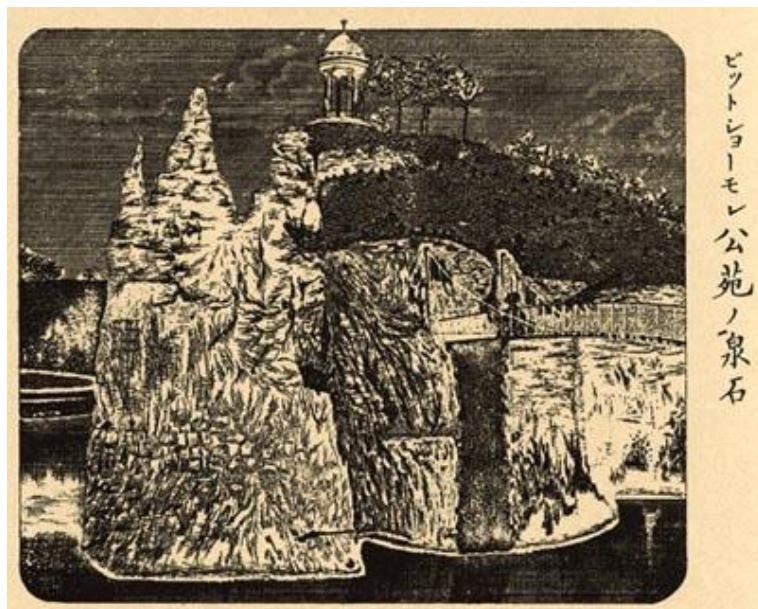
晴

午後ヨリ、「ホテルデモニー」ニ至ル、是ハ造幣寮ノ謂ナリ、「セイン」河ノ西南岸ニアリ、其屋宇ノ宏大ナルハ、英米ノ上ニ出ツ、此寮今ヨリ二百年前ニ、路易第十四世ノ建シ所ナリ、此寮中ニ各国ノ貨幣ヲ集メ蓄フ、スヘテ三四万種アリ、支那ノ貨幣ハ、王莽ノ契刀錯刀ニ至ルマテ、ミナ備ル、本朝ノ貨幣ハ、新貨幣ノ金銀各種已ニ備ル、古貨幣モ大抵備ル、西洋ハ知ラス、東洋貨幣ノ備ハルコト、此ヲ最ナリトス、

夫ヨリ金銀銅三品貨幣、及ヒ「メタール」ノ製造ヲ略覽ス、当時職人ヲ入ル三百人ニテ、三十馬力ノ汽輪ヲ転ス、

仏ノ金幣ニハ、周輪ニ文字ヲ印ス、故ニ貨幣ノ面ニ紋ヲ印スルノ器械ハ、各国トカハリテ、一種ノ奇工アリ、「メタール」ハ、人カヲ以テ車ヲ振転シテ、印紋ヲ挫キ出ス、汽カヲ用ヒス

## 「ビットショーモン」公苑ノ泉石



明治六年一月十日

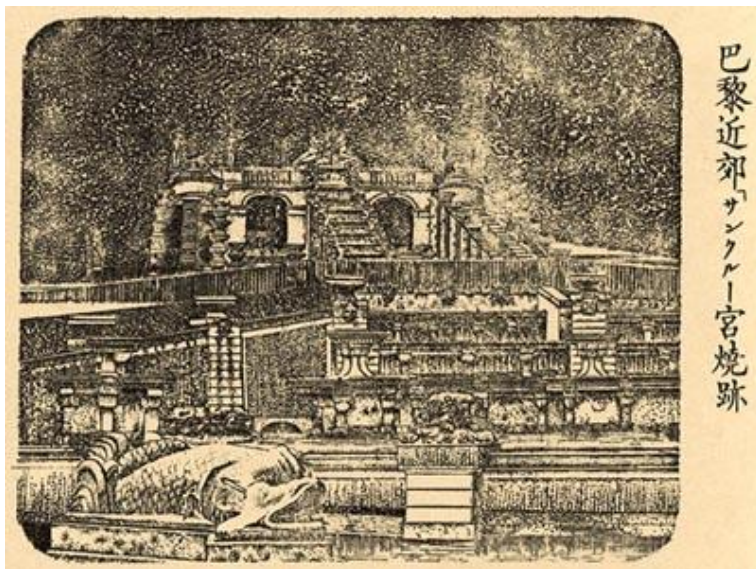
夫ヨリ「ビットショーモン」ノ公苑ニ至ル、童岡ノ謂ナリ、此苑モ墓所ノ近地ニアリ、巴黎ノ東辺ニテ、其一帶ノ地ハ、製造所ニテ、教育モ十分ナラス、近時ニ或ル博士、此ニ教育ノ方ヲ施サンコトヲ思考セシニ、今ヨリ手ヲ下シテ、八十年ノ久キヲ経ルニ非レハ、巴黎一般ノ人民ニ平均シ難シト謂ヘリト、

拿破侖三世在位ノトキ、巴黎ノ生産ヲ導キ、工芸ノ業ヲ盛ンニシテ、其利潤ニヨリ、金八十万「フランク」ヲ費シテ、此公苑ヲ築キ、職人ニアタヘテ、游息ノ地トナセリ、三世拿破侖ノ政ヲナス、中等以下ノ民ニハ、深ク利益ヲハカリ、「ハイマーケット」「モントピエター」等ノ設ケ、ミナ賤民貧家ノ利ヲウクルモノ少カラサレハ、其徳ヲ今ニ仰慕スルトナン、

此「ビットショーモン」ハ、往時拿破侖一世ノトキハ、普魯西人ノ屯兵所ニテアリキ、岡陵起伏シ、総面積一百「エーカー」ノ広サアリ、岡上ニ草ヲ蒔キ、樹ヲ植ヘ、岡側ヲ削リテ、岩石ヲ聳カシ、其足ヲサルハ、石灰ヲ以テ石ヲ粘合シテ、奇岩ノ嶄嶄タルヲナス、岩壁ノ仄立セル所ヨリ、水ヲ瀉キ下シテ瀑ヲナシ、岡底ニハ池アリ環繞ス、瀑水之ニ注キ、池水清浅ナリ、池上ニ一高阜起ル、上ニ遊亭アリ、鉄索ノ懸橋ヲ架シテ阜ニ渡ス、此

ヨリ俯瞰スレハ、巴黎府ハ目睫ノ間ニ落ル、巴黎ノ游園中ニテ、眺望ノ濶ニシテ、山水ノ奇、雅韻アルハ、此苑ヲ以テ第一トスヘシ

## 巴黎近郊「サンクルー」宮焼跡



## 同處「セイン」河ノ野景

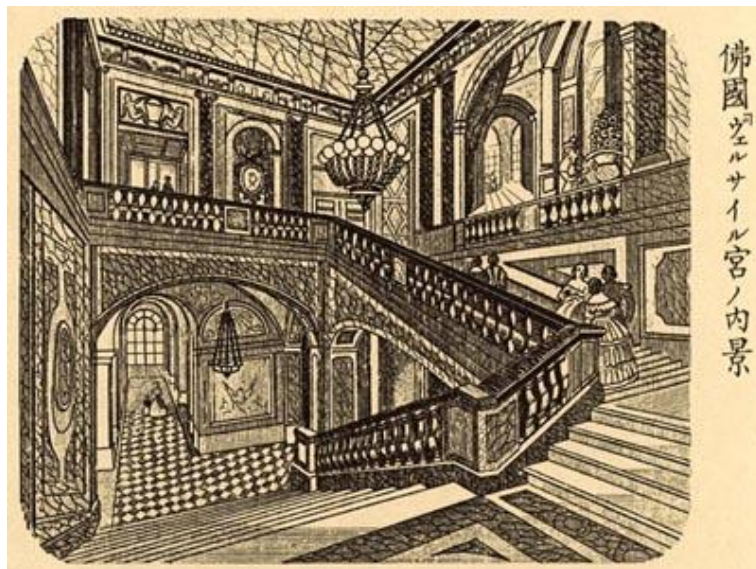


明治六年一月十一日

「サンクルウ」ハ、巴黎ノ近郊ニアル邑ニテ、「セイン」河ヲ前ニシ、長岡ヲ負フ、此ニ宮殿アリ、一千八百年拿破侖第一世、仏国共和政治ノ「コンシュル」トナリシトキ、此ニ政府ヲ設ケ、爾後仏王ノ避暑場トシテ、游予ノ地トセリ、庭苑ノ設ケ、清麗ニテ、高キニ抛リテ、

宮閣ヲカマヘ、結構壯麗ナルコト、高名ノ地ニテアリシニ、先年兵火ニテ、尽ク烏有トナリ、今ハ只地基、石級、残礎、石像等ヲ存スルノミ、然レトモ其庭苑ノ景ハ、猶盤桓逍遙スルニ宜シ、巴黎ニアルモノ、暇日ニハ「セイン」河ヲ下リテ、此ニ休憩シ、晚涼ニ棹シテ返ル、猶浪華ノ桜宮アリ、東京ノ向島アルカ如シ

## 仏国「ヴェルサイル」宮ノ内景

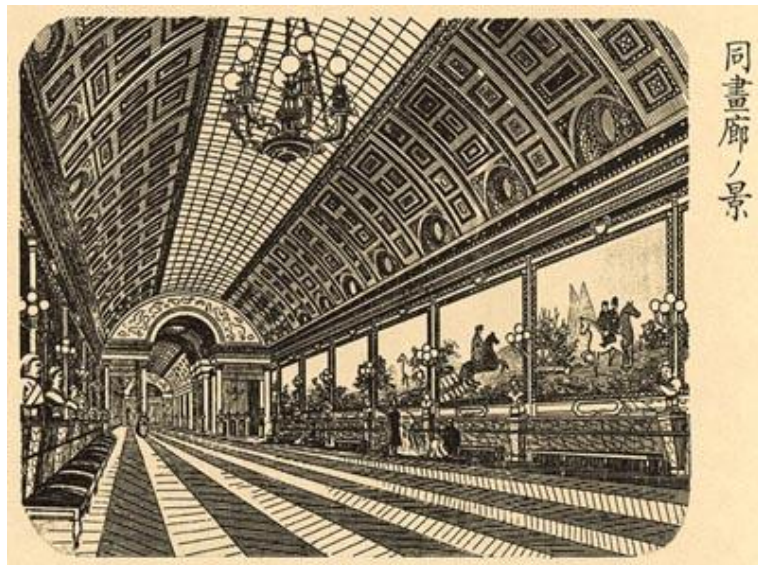


明治六年一月十五日

帰路ニ「ヴェルサイル」ノ宮中ヲ一覽ス、「ヴェルサイル」宮ハ、当時仏国ノ大政府ヲ設ケタルコト、已ニ前ニ詳ラカナリ、此処古ハ仏王ノ小宮アリテ、遊衍ノ地トセシニ、一千六百六十一年、路易第十四世、此ニ宮殿ヲ造営シ、十一ヶ年ノ工作ヲ費シテ、八十一年ニ其工ヲ竣メ、「サンゼルマン」ヨリ、都ヲ此ニ移セリ、营造ノ費、スヘテ十億万「フランク」ヲ用ヒタリ、其魏傑宏麗ナル、水石ノ設ケ、林泉ノ致、十分ノ恢濶ヲ極メタルコト、欧羅巴洲中ニ其比ヲミサル大宮殿ナリ、此宮ノ盛時ニ当リテハ、全府ノ人口十五万ニモ及ヒタリキ、路易第十六世モ、国乱ニ逢フマテハ、此宮ニアリシカ、遂ニ幽囚ノ後ニ弑セラレ、其時ニ此宮ヲ毀タント、議論起リタレトモ、拿破侖第一世之ヲ止メテ、竟ニ保存スルヲ得タリ、拿破侖ノ在位ノトキ、之ヲ盛ニ修メルノ志ナリシニ、折節露国莫斯科ノ破レニ際会シテ、其志ヲ果サス、路易非立ノ代ニ至リテ、其修繕ヲナセリ、此宮ハ小高キ高燥ノ地形ヲ占メテ起ル、巴黎ヨリ「ヴェルサイル」ニ至ル駅口ヨリ、地勢自然ニ起ル、此ニ一條ノ広衢ヲ、直線ニ開ク十数町、左右ニ樹ヲ植エテ、一望叢然タリ、夏ハ緑陰清嵐ヲ帯ヒ、夜ハ瓦斯燈星珠ヲ点ス、限りナキノ勝到アリ、街極リテ門庭アリ、満地ノ甃石砥ノ如ク、濶然タル広庭ニテ、層層ニ級ヲ逐テ高ク、高処ニ路易十四世ノ騎馬像アリ、左右ニ宰相「リセリユウ」、「ルーボア」等ヲ始メ、名臣賢将ノ像ヲ列テ、宮閣之ヲ抱擁シテ起ル



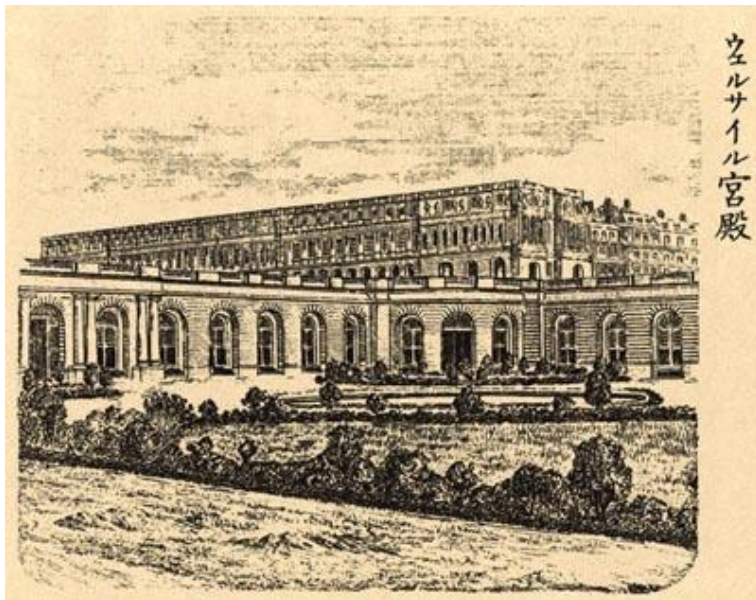
## 同画廊ノ景



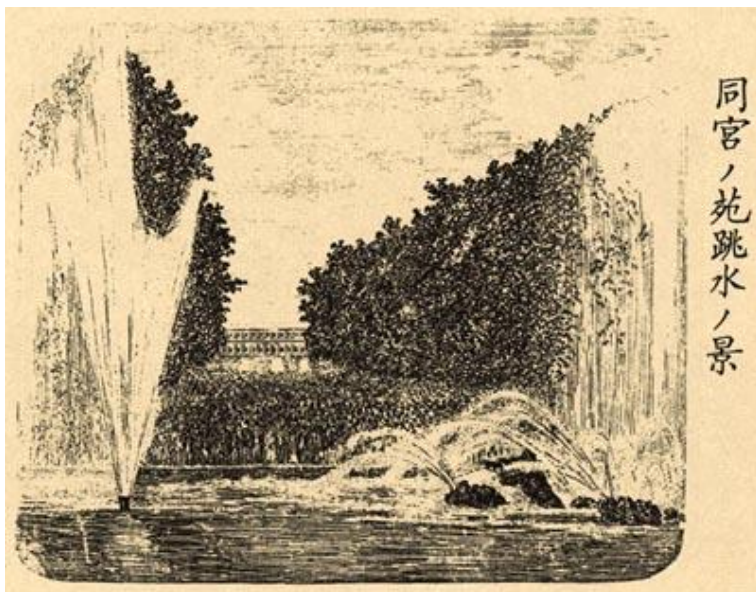
明治六年一月十五日

宮ノ内部ハ、室房甚多ク、一兩日ノ觀尽ス所ニ非ス、故王ノ居寢ニハ、其時ノ服御寢席ヲ、其儘ニシテ飾リ付ケ、莊嚴ヲ加フ、美ヲ尽シ精ヲ尽シ、雕繪滿眼ニテ、金珠ノ光リ目ヲ眩ス、一広廊中ニハ、仏国戰捷ニカハル図ヲ扁額トシテ、数十歩ノ楼上ヲ挾ミ飾ル、其下層ニハ、歴代王族、名臣、賢相、雄將、博士ノ石像ヲ羅列シ、大石階ヲ以テ楼上ニツハル

## 「ヴェルサイル」宮殿



## 同宮ノ苑跳水ノ景



明治六年一月十五日

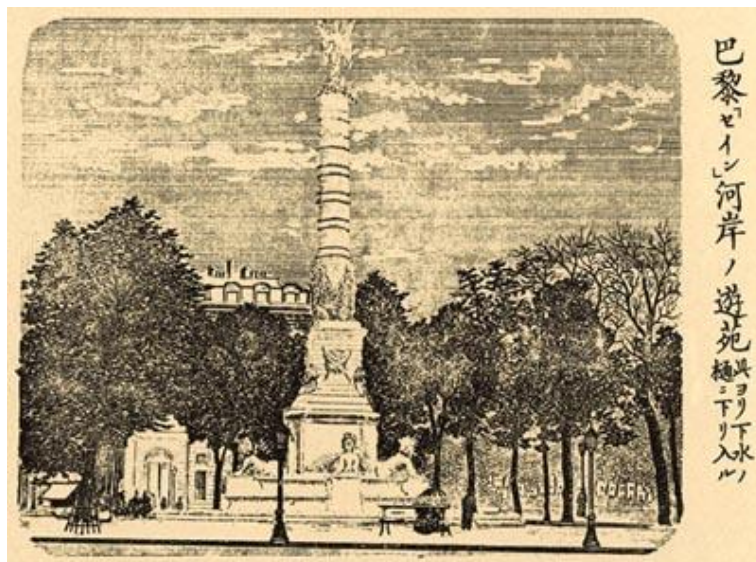
宮ノ後面ハ広苑アリ、其大堺域ヲ挙レハ、五方英里ニモ及フ、宮ヨリ正面ニアタリ、水石ノ勝ヲ設ケ、庭モ亦層層ニテ下リ、遙ニ数十町ヲ極メテ猶尽キス、緑樹ノ烟ヲ吹テ雲ニ際

スルノミ、高層ニ田池アリ、白石ヲ以テ甃シテ、中ニ石像ヲ建テ、噴水ノ管ヲ施ス、其次層ニモ亦池アリ、最モ下層ニハ、方塘ヲ鏡ノ如クニ澹ヘテ、遙ニ空ニ際シ、左右ノ茂林、之ニ影ヲ涵ス、林樹ヲ植ルニ法アリ、或ハ規ニ合シ、或ハ矩ニ叶ヒ、井井トシテ整ヒ、又錯綜シ乱ル、亦一日二日ノ尽ス所ニアラサルナリ、

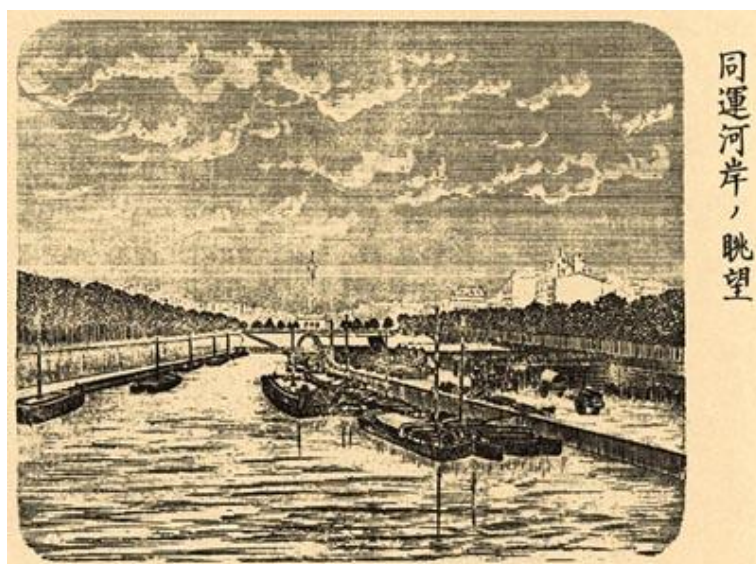
右ハ、石ノ広階、両道ヲ分ツテ下リ、裏門ニ出ル、此仄立ノ崖ニ、石ヲ疊ミ柱ヲ支ヘテ、地下ヲ以テ室宇トナス、上面ニハ甃池水ヲタゞへ、草花爛漫タリ、其前ハ高爽ノ室宇アリテ、高堂大房ヲ分ツ、此建築ノ絶倫ナル、亦世ニ其類ヲミスト云、左ハ亦園庭アリ、今日ハ其一斑ヲ見ルニモ及ハス、英国ノ水晶宮、或ハ之ニ比較スヘシ、彼ハ綺麗ヲ以テ勝ツ、是ハ壮大ヲ以テ勝ツ、皆大国ノ美観ナレトモ、其力量ヲ角セハ、遂ニ一頭地ヲ出スヘシ、

此宮ハ一千八百七十一年ニ、普軍巴黎ヲ囲ミシトキ、以テ本陣トナシ、「ガロリー、デ、グラス」〈玻璃廊ノ謂ナリ〉ニ於テ、独逸列国ノ君、普王維廉ヲ日耳曼ノ「カイゾル」ニ勸進シタリ、又園庭ノ池ヘ盛シニ跳水ノ観ヲナシタリト

巴黎「セイン」河岸ノ遊苑〈此ヨリ下水ノ樋ニ下リ入  
ル〉



同運河岸ノ眺望

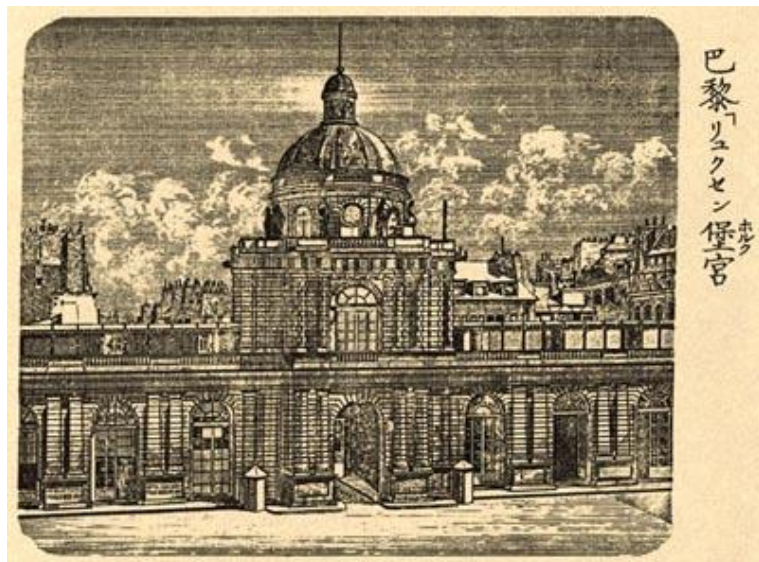


明治六年一月十六日

薄陰

午後ニ、巴黎府中ノ下水隧道ヲミル、亦巴黎ノ壯觀中ノ一タリ、其隧道ハ、地底八「メートル」ノ底ヲ回ル、大溝、中溝、小溝アリ、又細支アリ、各街ヨリ溪ヲナシテ下リ来リテ小溝ニ入ル、小溝ノ幅ハ中溝ニ同シケレトモ、左右ノ人道狭キノミ、中溝ノ幅一「メートル」半モアルヘシ、深サ四尺、左右ニ道アリ、ミナ灰土ヲ鞏固シ、石ヲ以テ砌トシ、底トス、周圍ノ宇ハ、大ナル弧形ノ洞ナリ、高サ一身有半ニテ、灰土ヲ塗り、上水ノ管、及ヒ電線ヲ此ニ結架シテ、隧中ニ遍ネシ

## 巴黎「リュクセン」堡宮



## 同宮苑

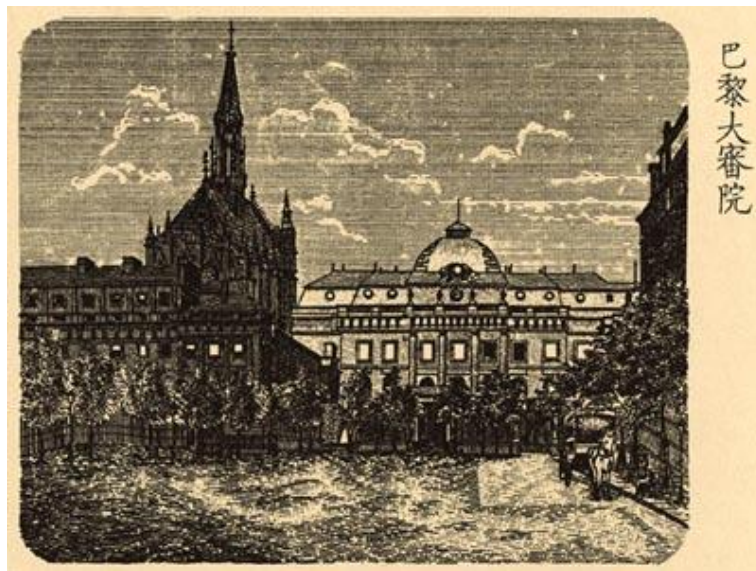


明治六年一月二十日

「レキシブルク」ノ王宮ハ、西巴黎ノ故宮殿ニテ、今ハ以テ、元老會議ノ院トナシタリ、各室房ニハ、画図ヲ集蓄シ、器什ヲ陳列シ、此宮ノ苑ハ、区域大ニシテ、艸ヲ蒔シ池ヲ鑿シ、水跳リテ石像立ツ、樹木ハ多カラス、西巴黎ニ於テ第一ノ大苑ナリ、スヘテ西巴

黎ニハ、学校多ク、書生徘徊シ、自ラ軒昂氣ヲ盛ンニシテ、肩ヲ張り歩ヲ高クスルノ状アリ、暇時ニハ酒店ニ上リ、麦酒ヲ一嚙シ、酔ヲ尽シテ帰ル、イツクモ書生ノ状態ハ、カハルコトナシ、且此辺ハ巴黎ノ狭斜巷ニテ、一ニノ街ニ其窩アリ、妖婦四モ出テ、客ヲ拘引ス

## 巴黎大審院

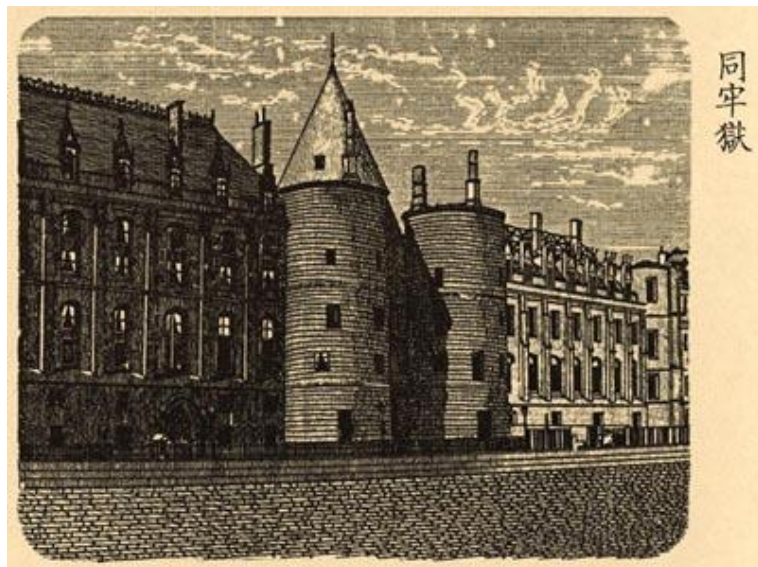


明治六年一月二十二日

「ロユールト、デ、アスエー」ノ裁判所ニ至ル、此ハ仏国裁判所ノ首ニテ、「セイン」河島ノ上ニアリ、其建築ハ市街ヘ凹状ヲ面シ、正面ニ広キ石階アリテ、礼拝堂ニ入ル、四百年前羅馬「カドレイキ」教全盛ノ時ニ当リテ、仏国ノ富強ヲ輝カシ造レル所ナレハ、其壯麗ナルコト名状スヘカラス、満室ノ彫繪、光華目ヲ眩ス、其結構ハ、羅馬法ノ「アルチ」(彎弧形ノ柱立テ)ヲ轉シ、柱トシテ彫鏤ヲ尽サ、ルナク、壁トシテ藻繪ヲ極メサルナシ、此ニ古来ヨリ酷罰慘刑ノ状ヲ画ク、大木ヲ抱カシメテ圧挫スルモノ、首ヲ斬リ飛スモノ、烙シ殺スアリ、焼キ殺スアリ、締ルアリ、裂クアリ、以テ後來ノ刑ヲ掌ルモノ、戒トス、裁判所ノ正堂ヲ以テ、礼拝ノ堂トナスハ、米欧各国ノ通例ナリ、蓋シ至誠天ニ誓ヒテ、訟獄ヲ判決スルニ起ル、且此堂ハ、年ニ一度ツ、議院ニ出席スル面々、此ニテ誓ヒヨナストナリ



## 同牢獄



明治六年一月二十二日

夫ヨリ牢獄ニ至ル、此ハ「ブリゾン、デ、ラサン」ト名ク、巴黎ニテ第一ノ大牢獄ナリ、其総積スヘテ二万五千方「メートル」〈約我七千五百坪〉、其造営ハ、大約英国漫識特〈第二十八卷ニ出〉ノ牢獄ニ似タリ、三階ノ屋ニテ、七面ヨリ輻輳ス、其中央ニ説教ノ壇ヲ設ケ、是カ為メニ榻ヲ層層ニ列セリ、法僧アリ来リテ説教ヲナス、人民ノ宗トスル教ニ、種種ノ異アレハ、法壇各各ニ設ケヲ異ニス、然レトモ仏国ノ宗教ハ、羅馬「カドレイキ」教ナル故ニ、是ヲ正壇ニ設ケテ、其他ノ法壇ハ、別房ニ設ケテ小ナリ、

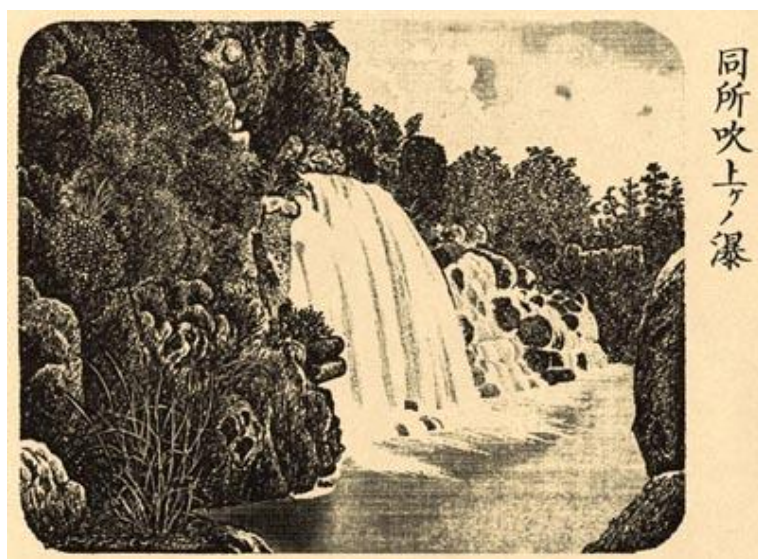
此牢ニハ、死罪ノモノヲ入レス、大抵入牢一年以下ヲ限ル、是ヨリ以上ハ、別ニ牢アリテ、此ニ移ス、即輕罪人ノ懲役場ナリ、此ニ入牢スルモノ、其群居ヲ好ムモノハ、大室ヲ与ヘ、独居ヲ欲スルモノハ、小室ヲ与ヘテ錮鎖ス、在牢中ニハ、種種ノ苦役ヲ課ス、其長スル所ニ従フ、衣服ヲ縫セ、履ヲ造リ、引火籤ヲ製シ、彫刻ヲナス等、百芸ミナ宜シ、一日ニ定課アリ、而テ其給料ヲ「フランク」ト定メテ、半ヲ政府ニ収メ、半ヲ罪人ニ給シ、出牢ノ時ニ齎シ出シム、

牢室ノ数、大小五百区アリ、現ニ入牢ノ罪人、一千百人アリ、一ヶ月ニ一度ノ洗浴ヲ許ス、入湯室アリ、甚タ清潔ナリ、書庫、及ヒ読書ノ室モアリ、罪人ノ望ニマカセテ、書房掛リヨリ書ヲ借シ与ヘテ読マシムル、総テ当牢ノ入費ハ、年ニ八百万「フランク」ヲ用フ

## 「ボアデブロン」公苑



## 同所吹上ヶノ瀑



明治六年二月二日

雪晴

「ボアデブロン」ノ苑ヲ散駆ス、此苑ノ光景ハ、已ニ前ニ記ス、此日ハ雪後ニテ、一ノ風趣ヲソヘタリ、

此苑ノ近地へ、新ニ一ノ禽獸園ヲ設ケ、鳥獸ヲ集ムル頗ル備ル、駝鳥ニ車ヲ服シ、四人ヲ牽キテ走ラセルヲミル、又一室ニ鶏ヲ養フヲミル、円キ台ニ層層ノ棚ヲ作り、格格ニ仕切りテ、一鶏ツハヲ峙セシメ、畜養スル人一名アリ、乳酪及ヒ牛乳ヲ器盂ニモリ、毎鳥ヲ執ヘテ、其嘴ヲ開カシメテ、其液ヲ注キコミ、台ヲ円環シテ飼ヘリ、謂フ是ハ近年ノ發明ニカハル、如此クシテ養ヘハ、卵充実且大ニシテ多ク産スト、仏国近年鶏卵ノ産高ヲ増進シタルハ、此術ニヨルモノ歟

## 白耳義国「ブロッセルス」府ノ王宮



明治六年二月十八日

午後一時ニ、宮内省ヨリ乗車二輪ヲ差派シ、御者ミナ緋衣金装シ、護衛兵隊ヲ具シ、宮内長官来リ迎へ、王宮ニ至リ「レオボルト」二世陛下ニ謁見ス〈事ハ謁見式ニ見ユ〉

## 同府中ノ眺望

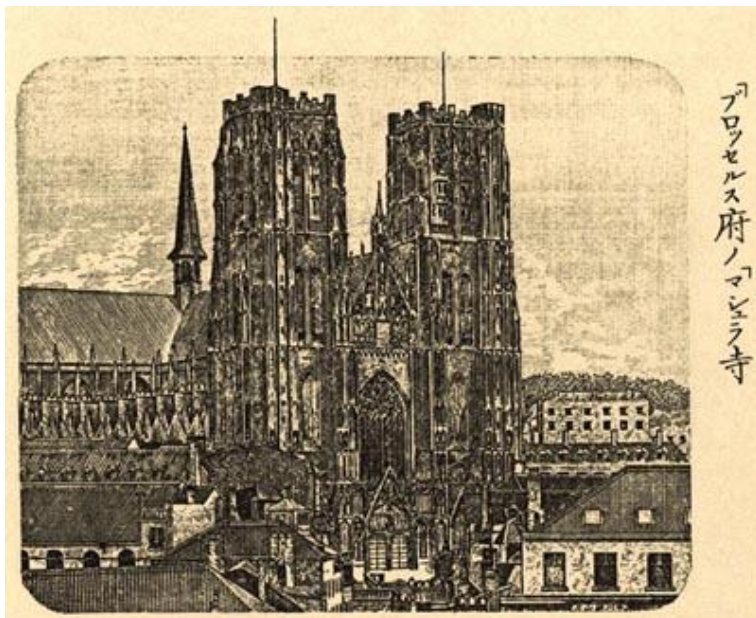


明治六年二月十八日

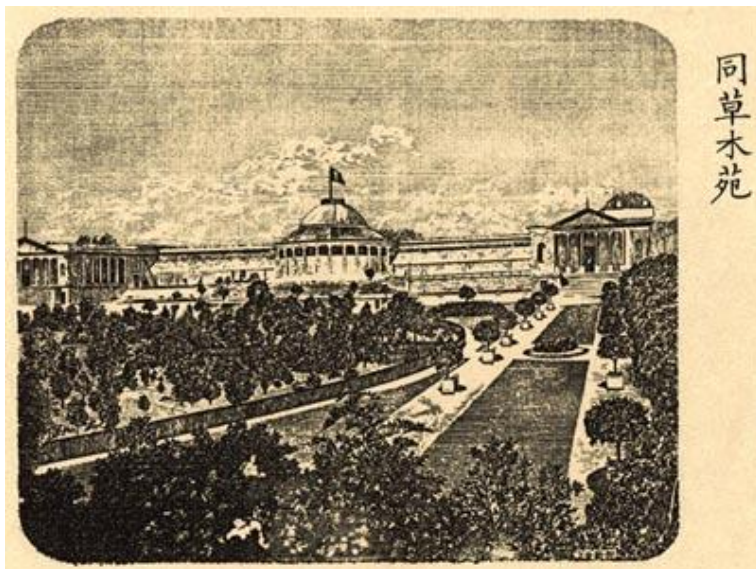
「フロッセルス」府ハ、北緯五十一度十一秒、東経四度二十一分十秒ノ地ニ位シ、人口十七万一千三百七十七人アリ、其地形、半ハ海平ヲ出ルコト二百二十尺ノ岡上ニアリ、是ヲ新部トス、半ハ平衍ノ地ニアリ、是ヲ旧部トス、

旧部ノ平地ハ、府ノ西方ニテ、市塵大小密接シ、街路モ狭隘ニシテ、不規則ナレトモ、総テ石ヲ甃シテ、人行車転ヲ利ス、「セントギユフル」ト云古キ大寺アリ、突然トシテ隣次セル屋薨ノ上ニ抽テ、其他一二ノ大寺アリ、堂尖ヲ聳セリ、極西ニハ「セーン」河アリ、紆余曲折シテ数島ヲ作ル

「ブロッセルス」府ノ「マシュラ」寺



# 同草木苑



同草木苑

## 玻璃製造場ノ内景



明治六年二月二十一日

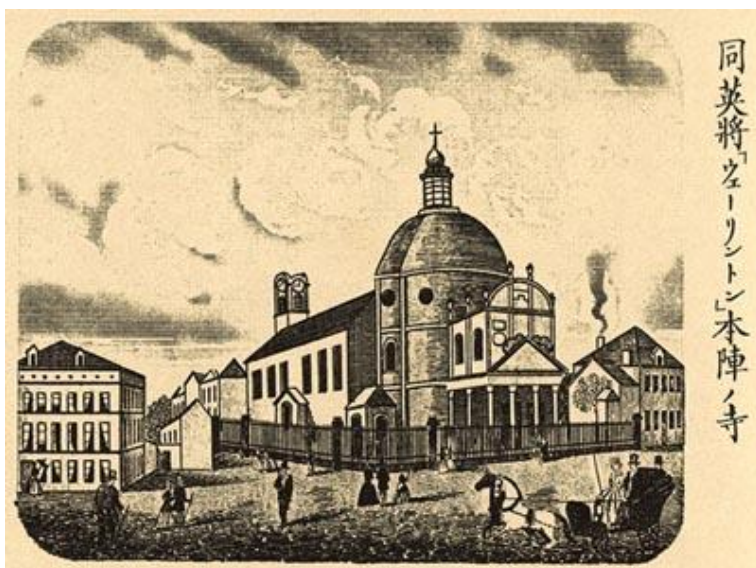
「ソーラン」村ノ「ワルサル」会社ノ玻璃製造場ヲミル、此場ハ日ニ職人ヲイル、一千七百人、製造スル玻璃ハ、総テ「コップ」、水呑「ガラス」、酒盞、酒瓶、薬瓶、一切ノ房室飲食器等ニテ、場場併セテ十一箇宇アリ、磚瓦ニテ円鑪ヲ起シ、之ヲ環シテ玻璃ヲ熔シ成ス、一ノ職人ニ、幼童数人ヲ付ス、童子モ亦能ク其技ニ慣熟セルモノアリ、玻璃工ノ子弟ハ、玻璃場ニ於テ育成ス、管子ノ所謂ル幼ニシテ習フ、其心安スルノ意ナリ、玻璃ヲ製スル元料ハ、玻璃石ノ末（即チ白沙石）ニ「ホッターズ」ヲ和シテ熔ス、所謂ル「ポッターズ」玻璃ナリ、凡ソ「ポッターズ」玻璃ノ質ハ、無色ニテ晶美ナリ、器皿ノ用ニハ此質ヲ主用ス、曹達玻璃ハ、少ク藍色ヲ帯フ、窓櫺ノ用ニハ、此質ヲ主用ス、丹鉛ヲ和スレハ、質軟ニシテ熔解ニ易ク、施巧ニ自由ナリ、此場玻璃ノ元料ヲ調合スル処ヘ導キ、参和物ヲ陳列シテ示セリ、白石末、「ポッターズ」、丹鉛ヲ主トス、丹鉛ヲ盛りタル箱中ニハ、玻璃ノ片落ヲ混シタリ、蓋シ玻璃ハ、再三熔スレハ、其質次第ニ粹美且堅牢ヲナスト云、製造スル所ノ玻璃ハ、無色ニテ玲瓏タル、尋常ノ質モアリ、又白色ニテ模糊タルモノアリ、此質ヲ以テ製スルモノハ、磁器ノ如シ、其他紅アリ、紫アリ、黄アリ、緑アリ、一質ニ数色ヲ合成セルアリ、瑩然トシテ文ヲナス、巴黎府ノ玻璃器ハ、多ク此ヨリ輸シ入ルモノト云



## 白耳義国「ウートルロオ」村



## 同英将「ウェーリントン」本陣ノ寺



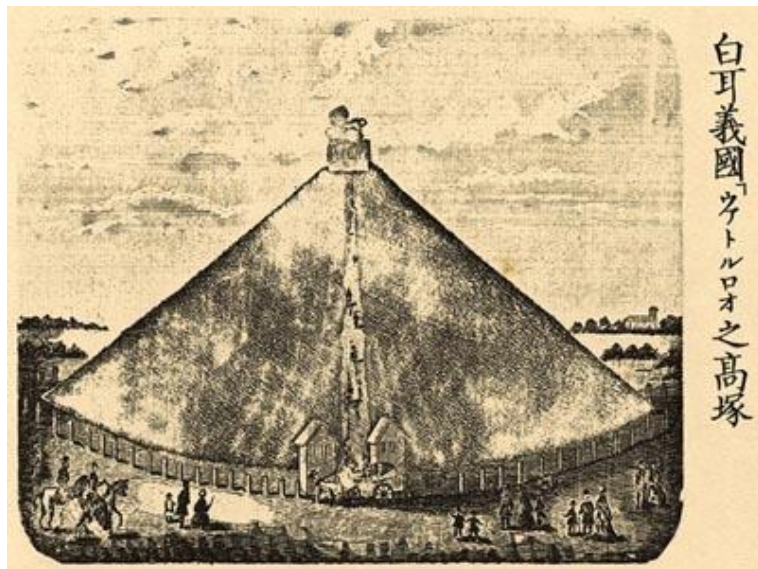
明治六年二月二十三日

雪

午前九時ヨリ馬車ニテ、西走スル十二英里ニテ、「ウートルロー」村ニ至ル、此ハ一千八百十五年ノ六月十五日ニ英ノ大将ヂェーク「オフ、ウェーリントン」氏、仏帝拿破侖第一世ヲ

破リタル、高名ノ戦場ナリ、此辺ノ地勢、ミナ平坦ナル原野ニテ、漫坡起伏シ、処処ニ林村アリ、一望曠然タル地ナリ、村野ハ路ニ沿イテ、数百家アリ、ミナ一味ノ野村ニテ、其内ニ一大寺アリ、是ヲ「ウェーリントン」氏ノ本陣トス

## 白耳義国「ウートルロオ」之高塚



明治六年二月二十三日

此屋ヲ出テ、南スレハ、坡面漫斜ヲナス、此ハ英軍ノ備ヘタル所ナリ、此ハ蘇格兵ノ備ヘタル所ナト、其戦状歴歴トシテミルカ如シ、其南五六町モ隔テタル原野中ニハ、一ノ高塚ヲ起ス、此処ハ両将雌雄ヲ決シ、死屍山積ノ中心ナルヲ以テ、戦捷ノ後、一千八百十八年ニ、高塚ヲ築成シテ、其蹟ヲ表セルナリ、塚頂ニ方石ノ基、丈八尺ナルヲスエ、上ニ銅製ノ獅子、砲丸ヲ踏ミ、西方巴黎ヲ睨ミタル像ヲ生ス

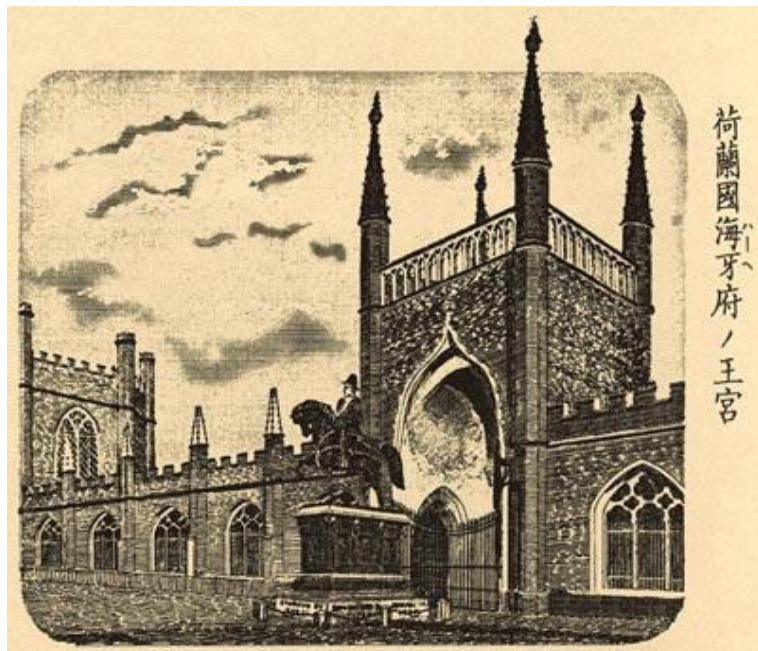
## 同英將守戰之營跡



明治六年二月二十三日

村ノ尽ル所ニ「ホテル」アリ、此ニテ小憩ス、是ヨリ大路ヲ貫キテ、西ニ向ヒユケハ、一路アリ、右ノ方北ニ走ル、此路ヲ走レハ、一ノ瓦壁ヲ匝セル廢屋アリ、元ハ豪家ノ別墅ナリシニ、戦争ノトキ、英人是ニ拠リテ仏軍ヲ拒ミ、壁ヲ鑿ツテ砲眼トナシ、仏兵ヲ射タリ、其砲眼ミナ存セリ、全壁ニ仏軍ヨリ射タル弾痕ハ、雨斑ノ如クニ存ス、其門前ニハ、当時森林ニテアリシニ、今ニ生存セル樹ニハ、皮ニ弾痕ヲ帯ヘトモ、生長ニ從ヒテ半ハ滅セリ、此前ニ十町余ヲ隔テタル高所アリ、林アリテ村ヲナス、此ヲ仏帝拿破侖ノ本陣ナリトス、六月十五日ノ戦ニハ、仏軍ハ、黎明ヨリ英陣ニ迫リ、其鋭兵ヲ以テ烈戦シテ、其目的ハ急ニ捷ヲ決スルニアリ、故ニ仏軍ヨリ、烈シク此陣營ヲ攻メ、後門ヲ奪ヒテ、九タヒ入ルヲ、九タヒ拒ミ、仏軍ハ門ヲ出ル毎ニ、英軍ヲ挑ミテ出戦ハシメントスルコト、百方ナレトモ、英將ハ全軍ノ怒氣ヲ抑制シ、敢テ出スシテ、其鋭ヲ挫折シタル、有名ノ戰場ナリ

## 荷蘭国海牙府ノ王宮



明治六年二月二十五日

四時ニ宮内省ヨリ乗車ヲ装ヒ、騎兵ヲ護衛トシテ、宮内ノ長官来リ迎へ、王宮ニ至リ、維廉第三世陛下ニ謁見ス（謁見式ニ見ユ）、海牙ノ王宮ハ、市中ニアリ、規模編小ニテ、建築モ宏壮ナラス、其造構ニハ、一種ノ形式ヲ用ヒ、英仏諸国ノ王宮ト異ナリ

## 同海牙森



明治六年二月二十五日

雪猶ヤマス

海牙府ハ、或ハ呼ンテ「ヘッグ」ト云、蘭国ノ京師ニテ、国王此ニ居住ス、其地北緯五十二度四分二十秒、東経四度十六分ニ位シ、人口九万〇三百七十七人アリ、府中ハ处处ニ溝渠ヲ回シ、水澹トシテ渠ニ満チ樹木鬱葱トシテ岸ヲ匝リ、蘭人ハ潔癖ナルヲ以テ、樹ニ廃枝ナク、水ニ塵芥ナク、街路ミナー塵ニ汚レス、氣象自ラ清潔ナリ、府中ニ車馬ノ馳行甚タ少シ、終日喧囂ノ声ヲキカス、其家屋ニハ恢濶ニ窓眼ヲ開キ、全屋ミナ窓ナリ、壁ハ赤瓦ニテ築ク、石造屋少ケレトモ、美麗ノ館第頗ル多シ、其建築ノ法ハ、自ラ英仏両国ニ異ナリ、新約克ノ市街ヲ回想スルニ、其光景自ラ相肖タルモノアリ、彼地ハ曾テ蘭人ノ開ク所ナレハ、其遺風ヲ猶存セル歟、市街ヲ開ク法モ、亦仏国ニ異ナリ、街路錯雑ナル処ハ、其幅僅ニ両車互ニ馳スルニ足ルノミ、衝頭处处ニ広域ヲ存シ、石像銅像ヲ環立シ、植ルニ緑樹ヲ以テス、某広街ハ、樹茂シ沙潔ヨク、一ノ長苑ヲナス、蘭国ニ樹少シ、甚タ樹ヲ愛惜ス、老幹槎牙タルモノ多シ

## 鹿持坦府ノ市街



鹿持坦府ノ市街

## 同風車運河ノ景



同風車運河ノ景

明治六年二月二十六日

鹿特坦府ハ、北緯五十一度五十五分、東經四度二十九分ニ位シ、人口十一万六千二百三十二人アリ、荷蘭ニ於テ第二ノ都会ナリ、屋宇ノ建築ニ奇觀ナシ、幅ハ三四窓ヲ存シ、高サ五六層、赤瓦ヲ以テ、狭長ニ築キ並ヘ、毎街ノ屋、ミナ溝渠ノ水ニ鑑ミ、轟然トシテ仄ツ、大廈壯屋少シ、溝渠ノ岸ニハ、樹ヲ植エテ街路ヲ界シ、車行少ク、歩行多ク、河道交

錯シ、漕舟ヲ以テ重車ニカユル、故ニ河ニ架セルノ橋ハ、其中腹ニ蝶番ヲ施シ、上ニ槓桿  
ヲ植エ、船来レハ開キ、船去レハ閉ルノ便ヲナス、処処ニ風車ヲ設ケテ、水ヲ引キ落ス



## 来丁ノ市街



## 同運河ノ岸



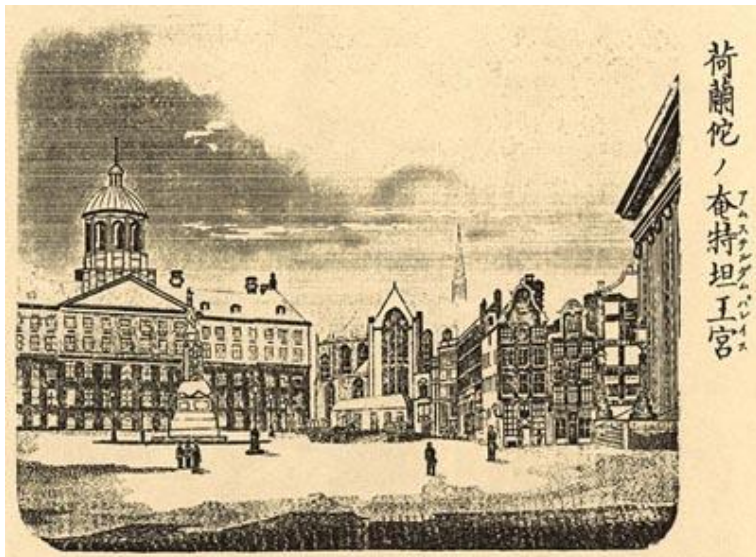
明治六年二月二十八日

来丁府ハ、人口三万八千九百四十三人アリ、荷蘭国第五ノ都会ニテ、来因河ノ下流ニヨレリ、此来因河ハ、独逸西方ノ大河ニテ、源ヲ瑞士蘭ノ「ポーチン」湖ニ発シテ、北流スル

コト九百六十英里、有名ナル一大河ナリ、其河口ハ蘭境ニ至リ、数派トナリテ海ニ注ク、各其名称ヲカヘ、而テ此邑ニ来ルモノ、独リ其名ヲ有ス、然レトモ河水ハ、此ニ至リテ甚タ小ニ、尋常ノ一川ニ過キス、

此邑ハ蘭国ノ鄒魯ナリ、古ヘ一千六百年代ニ、西班牙ノ兵、蘭国ニ侵入セシトキ、此地ノ兵勇コレヲ拒ミ、勇健ニシテ善ク戦ヒ、遂ニ寇ヲ卻ケタリ、政府其功ヲ賞セント欲シ、何ヲ以テスルヲ知ラス、欲スル所ヲ邑中ノ民ニ問フ、ミナーノ学校ヲ起シテ、末世ニ恵センコトヲ願フ、因テ其望ミニ随ヒテ、此ニ大学校ヲ起セリ、其後文学盛ニ進ミ、有名ノ博士ヲ出スコト、今ニ陸続トシテ名誉ヲ墜サス

## 荷蘭佗ノ奄特坦王宮



明治六年三月二日

奄特坦ノ王宮ニ至ル、宮ハ府ノ中心ニアリ、長サ二百八十二尺、広サ二百三十五尺、高塔ノ杪ハ高サ百二十尺ニ及フ、元ハ府ノ町会所ナリシヲ、修メテ以テ王宮トナセリ、今ニ其時ノ会議堂ハ、存シテ宮内ニアリ、二百年前ノ建築ニカゝル、宮ノ内景ハ、金色眩爛ナラス、只白石皓然トシテ、窓明カニ室潔ク、却テ清麗ヲ覚フナリ、画額ヲ以テ飾レル室アリ、文絹ヲ以テ張レル壁アリ、其尤モ広敞ナルハ会食堂ナリ、正ニ高塔ノ下ニ位ス、其穹宇ノ高サ十丈ニ及フ、此頂心ヨリ金ノ長鎖ヲ以テ、瓦斯燈ノ大叢枝ヲ釣下ス、全牀ハ寄木板ヲ張り、円活ニテ足ヲ失ハントス、此ハ先代未タ海牙ニ都セサル以前ノ王居ニテ、遷都ノ後モ、猶修治シテ以テ別宮トナセリ

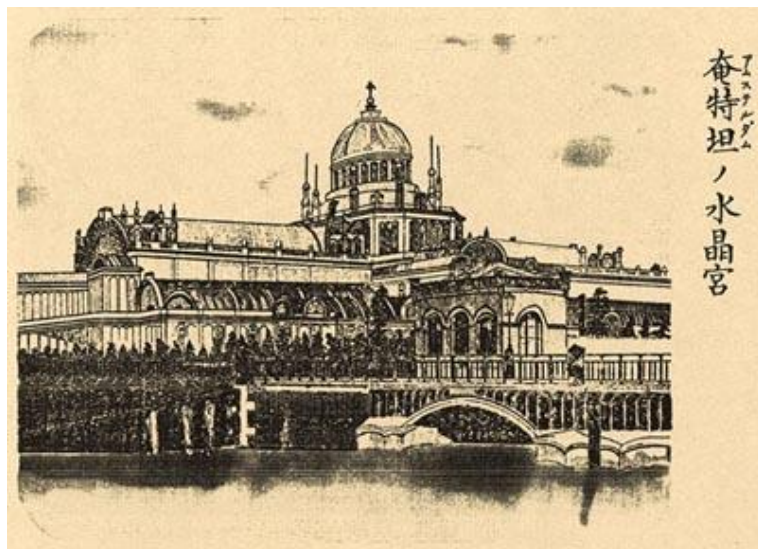
## 同府海岸ノ景



明治六年三月二日

奄特坦府ハ北荷蘭州ノ首府ニテ、「シンデル」ノ海湾ニ控ヘタル、当国第一ノ都府タリ、昔時ハ以テ王都トセシコトモアリ、歐洲中ニテ切要ナル、貿易ノ都会ナリ、其地ハ北緯五十二度二十二分、東經四度五十三分ニ位シ、人口二十六万四千六百四十九人アリ、府中ニハ、湾海ニ注ク江港ヲ交錯シ、或ハ弓彎シ、或ハ斗出シ、水光澹トシテ、地中尺余ノ下ニ湛ヘ、洲嘴互ニ相望ミ、峰巒ノ前後ニ映対スルナシト雖トモ、樹陰倒ニ影ヲ鑑ミ、参差トシテ遠キニ連リ、水晶館ヲ起シ、草花苑ヲ開キテ、水崖ノ勝ニ接連シタレハ、河岸ノ眺覽モ麗ニ、我東京深川靈岸島ノ光景ヲ緬像スルナリ、此港ノ貿易ノ盛ナルヤ、一潮ノ来ルニ從ヒ、百艘ノ船ヲ入ルヲ常トシ、時ニハ是ニ数倍スルニ至ル、港中ニ碇舶セル船ハ、六百艘ヨリ少キ日ナシ、此海ニ牡蠣ヲ産ス、歐洲ノ美ナリ、其価モ亦貴シ、歐人牡蠣ヲ賞美ス、蘭国以テ利ヲウク、米洲ニ於テハ、新約克ノ海岸ニ多ク生ス、往時蘭人長崎ニ来リ、肥前ノ牡蠣ヲ買フテ輸送セルモ、其利ヲ獲ルニ慣ヘル故ナリ

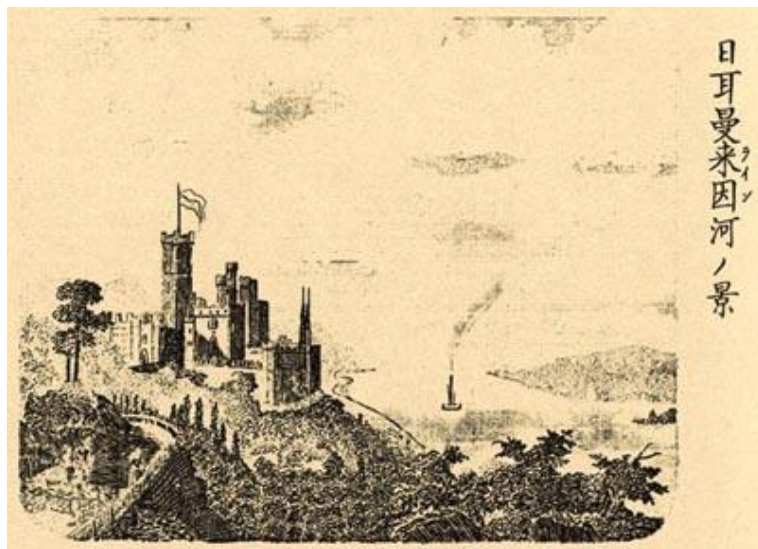
## 奄特坦ノ水晶宮



明治六年三月二日

水晶館ハ、当府ニテ鼻目トスル壮美ノ館ナリ、以テ遊衍ノ場ニ供ス、中央ニ巨塔ヲ起シ、全屋ミナ鉄ヲ以テ、幹トシテ、玻璃ヲ以テ覆フ、皎瑩ニシテ甚タ浄シ、英国水晶宮ノ小ナルモノナリ、中堂ヲ広廊ニシテ、木板ヲ以テ下牀トシ、正面ニ楽壇ヲ設ク、此日正ニ一幫ノ楽隊、楽ヲ調シ、府中ノ遊人、男女集リ聞キ居タリ、頗ル鬧劇ナリキ、両側ノ廊ニハ、酒、茶、呵琲ヲ販クモノアリ、又一二ノ画房アリテ、名画ヲ羅張ス、此額画ノ内ニテ、一ノ記録スヘキハ、当国孝子ノ図ナリ、二百五十年前ニ、西班牙ノ兵、蘭国ノ境ニ侵入セシトキ、兵卒ハ抄掠ヲ極ム、鄙村ニ一男アリ、耳順ノ母ト居ル、母ヲ手車ニ載セ、自ラ推シテ河水ヲ渡ルトキ、西兵ノ認ムル所トナリテ来リ、掠略セントス、孝子言ヲ尽シテ是ヲ辯解セシニ、暴卒モ為メニ感動シ、助ケテ逃レシメタルハ、荷蘭国ノ史ニ於テ、一ノ美談トナレリ、此ハ其状ヲ図セリ、母ノ老態、孝子ノ誠實ナル、兵丁ノ暴戾ナル、其面目苑トシテ真ニ迫ルノミナラス、併セテ精神ヲ露セリ、英仏以来、画図ヲミルコト多シ、其所謂ル名画ハ、法教神像ニカゝルヲ除ケハ、裸体ノ婦人、時ニハ醜猥ノ状ヲ繪セルアリ、此画ノ如キハ西洋人ノ孝徳ヲ描ク、甚タ珍希ニ嘉尚スルヘキモノナリ

## 日耳曼来因河ノ景

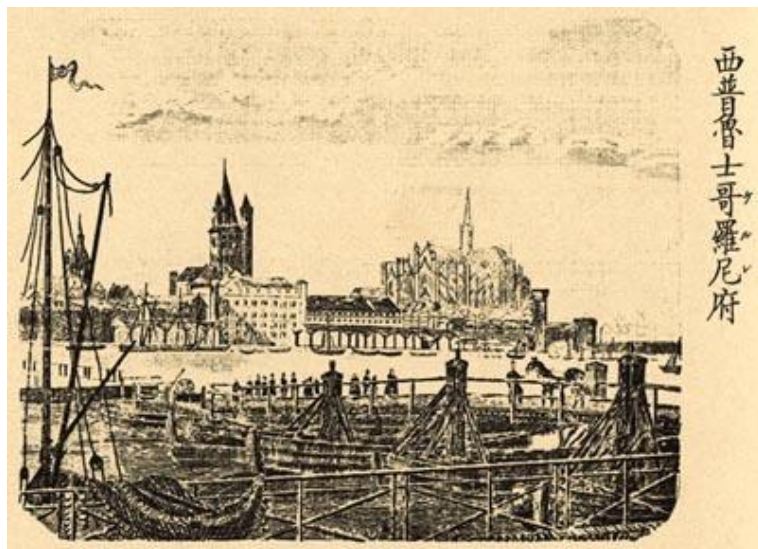


明治六年三月七日

南走スルコト約二時間ニシテ、一ノ都会ヲスク、駅標ニ「ミンスター」ノ字ヲトム、是路ヲ迂シテ、西華蓮州ノ中央ヲ經過セルヲ知ルナリ、「ミンスター」府ハ、州ノ首府ニテ、人口二万六千、「エムス」河浜ニヨリ、西方来因河ノ運漕ニツムル、昔時日耳曼新旧教ノ大争乱ニテ、多年惨血ヲ流セシ後ニ、各邦此府ニ会シテ、両党ノ和議ヲ協セリ、歴史上ニ高名ナル地ナリ、

是ヨリ路線ヲカエテ、来因州ノ東境ヲ走ル、来因州ハ普国西方ノ所領地中ニ於テ、最モ繁昌ナル大州ナリ、其広サ殆ト白耳義一国ニ比スヘシ、其人口三百五十八万ニ及フ、昔拿破侖一世、此州、及ヒ西華蓮ヲ合セテ、一国ヲナシ、己ノ兄弟ヲ封セシ美地ナリ、其西南ハ、去年仏国ヨリ還シタル「アルサス」「ロル」来因ノ二州ニテ、幅員ハ来因州ヨリヤ大ナリ、其民口ハ合セテ六百三十万アリ、此新地ハ、別ニ一ノ独立地トナシテ、南方日耳曼ノ一ニオク、此辺ハ、独仏ノ争フ、繁昌ノ衝ナルコトヲ察スヘシ、来因州ハ、土地ノ豊沃ナルノミナラス、又石炭ニ富ム、西方来因ノ河浜ニ於テ、「トッセルドルフ」県ハ、石炭ノ名所ニテ、物産製造ノ地ナリ、又漕舟ノ要衝ニ位シ、貿易盛ニ行ハル、百三十万ノ人口ハ、此県内ニ集リ、「トッセルドルフ」府ノ人口六万三千アリ、来因ノ貿易ニ要衝ヲシム

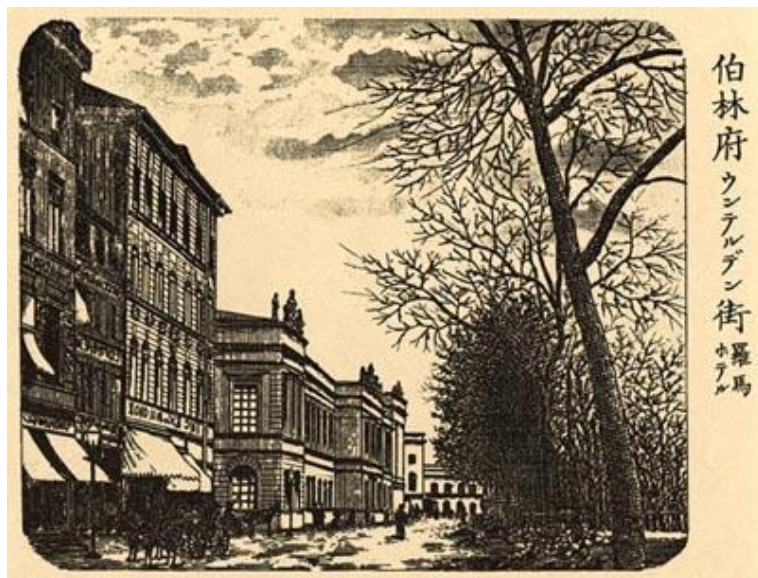
## 西普魯士哥羅尼府



明治六年三月七日

其上流ニ於テ、「ケルン」府ハ、鐵路四達ノ衝ニテ、仏、白、蘭ヨリ、伯林ヘノ往来、日夜絶ヘス、人口十二万九千ノ大都会ヲナシ、土産ハ香水ニ名アリ

## 伯林府「ウンテルデン」街〈羅馬「ホテル」〉



明治六年三月九日

旅館ハ、宮内省ヨリ手当ヲナシ、「ウンテルデン、リンデン」街ナル「ホテル、デ、ローマ」ニ定メ、室房ヨリ食飲ニ至ルマテ、尽ク同省ヨリ調辨シ、使節ト書記官トヘ、各自ニ別食堂ヲ設ケ、旅館ノ口、及ヒ「ホテル」内ノ廊ニ、直丁数名ヲ差シ、交番ニ護衛ヲナシ、応用ノ勞ニアタラシム、其接遇ノ厚キ、他ノ諸国ニ超エタリ



## 同「ブランデン、ブエルケルトール」門



## 伯林「リンデン」大通り「フレデルヒ」彫像

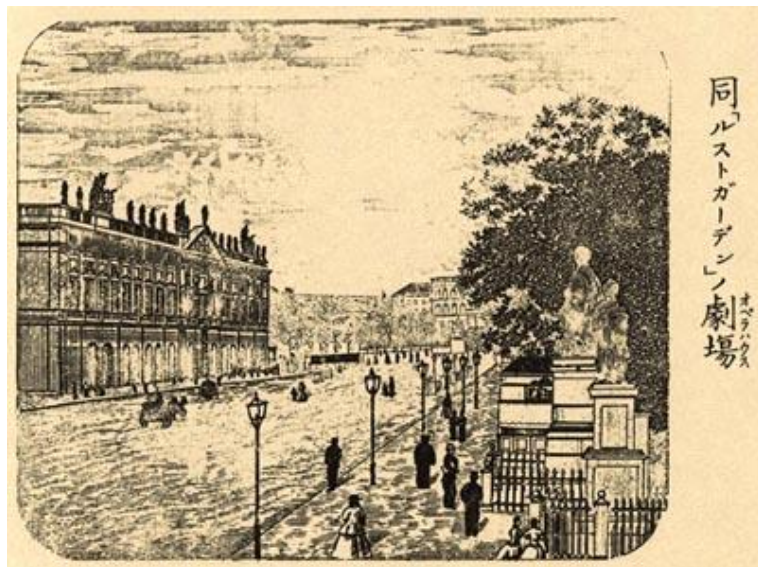


明治六年三月九日

府内ノ地ヲ、五区ニ分ツ、第一ヲ伯林ノ本部トス、此ニ寺院、学校、武庫、病院、孤院等アリ、第二ヲ「コローン、オンセ、スプレー」トス、帝宮、及ヒ帝家ノ菩提寺等、此ニアリ、第三ヲ「フレデルヒ、ウエルデン」トス、皇帝ノ別宮、医学校、運上所、造幣局等、

此ニアリ、第四ヲ「ドローツェンス、ダット」トス、新府ノ謂ナリ、此ニ帝家ノ学校、天文台、解剖所等アリ、此ニ建タル城門ヲ「ブランデンブルグ」ト謂フ、府内ニテ最モ美觀タリ、第五ヲ「フレデルヒス、ダット」トス、此ニ金銀器ノ細工所、及ヒ大裁判所等アリ、第四、第五ノ両区ハ、後世ニ開キタル地ナレハ、街衢壯濶ニシテ、殊ニ府中ノ勝地タリ、「フランデンブルグ」ノ城門ヨリ、一条ノ大衢ヲ通ス、之ヲ「ウンテルデンリンドン」街ト云、府中第一ノ広街ナリ

## 同「ルストガーデン」ノ劇場



明治六年三月十一日

夜、皇帝ノ劇場ニ赴ク（是ヲ「オヘラ」ト云、諸種ノ芝居中ニテ最上等ナルモノ猶我猿楽ノ如シ）

## 伯林ノ「コーニングス」宮



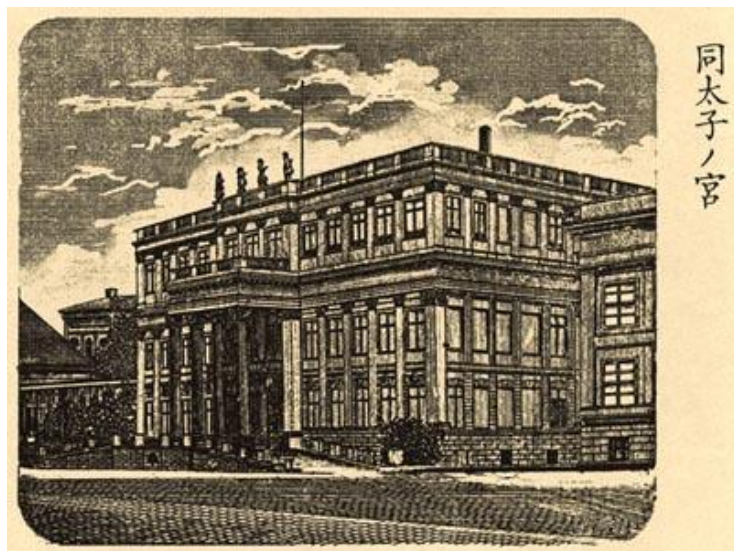
明治六年三月十二日

朝晴午後二過雨アリ夜晴

午後一時ヨリ盛服ニテ、又「コーニングス、パレイス」ニ至ル、此宮ハ、普国王ノ本宮ニテ、表向キノ朝儀ヲ取行フ所ナリ、一ニ「オペラ、パレイス」トモ名ツクトナリ、此日ハ文武百官、ミナ教会堂ニ集メテ、礼拝ノ式ヲ行ハル、因テ其儀ヲ一見ナシ、夫ヨリ宮中ヲ一覽セリ、

此宮ハ、赤色ノ煉化石ニテ疊ミ起シ、長サ四百七十「フート」(約我七十九間)、寛サ二百八十四「フート」(約我四十七間)ニテ、中心ニ大円堂ヲ聳起ス、高サ百四「フート」アリ、前ノ広達ニハ、「フレデルヒ、セ、クレート」王ノ騎馬像アリ、広渠ノ前ニ兀立シ、規模稍宏ナレトモ、外景ハ甚タ美ナラス、苑囿ノ設ケモナシ、其内景ノ美ハ、「フレデルヒ」二世以来、世世王費ヲツミ修美ヲ加ヘ、雕刻精ヲ尽シ、金銀珠玉ヲ飾リ、爛然乾然トシテ、目ヲ耀カスハ、仏ノ「フォンテンブロー」ノ宮モ瞠若タルニ近シ、室房ニ無数ノ画額ヲ集メタルコト、猶仏ノ「ヴェルサイル」宮ノ如シ、盛ナル書庫モアリ、此ニ先年仏国ト戦ヒヲ起スノ初メ、拿破侖三世、遽ニ戦ヲ布告セシ文ノ写シヲ、飛報ニテ伯林ニ到着セシトキ、今日耳曼帝ハ、別宮ニ遊衍中ニアリシニ、之ヲ聞クヤ、直ニ馬ヲ鞭チ、蒸気車駅ニ至リ、戦ヲ決スル檄ヲ発セリ、戦勝ノ後ニ、拿破侖三世戦ヲ布告スル文ヲ草シタル、几案ヲ分捕シ来リ、其鞭ト共ニ宮中ニ飾レリ

## 同太子ノ宮



明治六年三月十二日

此夜、雨霽雲収り、月色水ノ如シ、此頃ハ太子「フレデレツキ」不予ナリシニ、此節平愈アリテ、昨日伯林ノ宮ニ帰御アリシヲ以テ、市街ミナ旗ヲ挙テ祝ス、此夜学校ノ教師生徒、皆之ヲ祝スルカ為メ、教師官属ハ、車馬ニ服シ、生徒ハ松明ヲ手ニシ、列ヲナシテ「フランデンフェルゲルトール」通ヲ歩シ、太子ノ宮ニ至リ、鼓樂シテ祝声ヲ揚ク、満街甚タ鬧カナリキ

## 伯林大学校 〈「ユニヴァルシチー」〉



明治六年三月二十三日

タニ「ユニヴァルシチー」ニ至ル、高名ノ大学校ニテ、生徒二千人ヲイル、其外不規則ニテ出席スルモノ千余人アリ、教講ノ室二十五、教官スベテ六十五人、造営ノ広大ナル「ウンテルデンリンデン」街中ニテモ、第一ニ囑目スル建築ナリ、

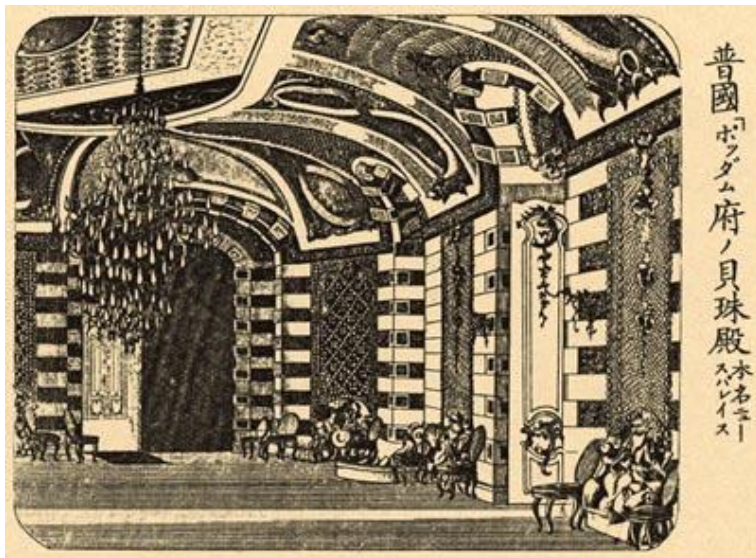
生徒試験ノ後ニ、進等ヲ申渡ス堂アリ、此ニ一千八百十三年ヨリ、十五年マテ、仏国トノ戦ヒニ、学校ノ生徒ヨリ出軍シテ、討死セシ人人ノ名ヲ、金字ヲ以テ大牌ニ勒シ掲ケタリ、今度仏国ヲ攻ルノ役ニモ、亦出軍シ戦死セルモノ、為メニ当時其牌ヲ造ラントスルト云、

三層ノ楼上ニハ、禽獸、虫豸、魚鱉ヨリ、卵蛋、巢窩ニ至ルマテ、採訪搜羅シテ、是ヲ十余ノ大室ニ蓄フ、荷蘭国来丁邑ヨリ、更ニ盛ナルヲ覚フ、其内ニテ奇異ノ動物モ、数ヘ難キ内ニテ、最モ奇ナルハ、前世界ノ鳥卵トテ、人頭大ノ卵アリ、南亜米利加ノ伯爾西国ニ産スル水禽ニ、翼アリ飛スシテ水居スルモノアリ、其毛羽甚タ美ナリ、以テ服飾トナシ、甚タ貴重ノ値アリシヲ以テ、土人之ヲ獵シ、遂ニ其種ヲ尽シタリ、近年伊太利王ヨリ百万「フランク」ノ価ヒヲ以テ、其一疋ノ全羽ヲ買取レリ、此校ニモ其全鳥ノ羽ヲ蔵セルヲ、教師取出シテ示シタリ、其他ノ奇禽、羽毛、其華麗ナル花ノ如キモノ甚タ多シ、礦石ノ室モ亦十余室アリ、天ヨリ隕タル石ヨリ、百種ノ礦石、化石等、珍奇ヲ尽セリ

同建築学校〈「スプレー」運河向岸ニ博物館ミユ〉



## 普国「ポツダム」府ノ貝珠殿〈本名「ニュースパレイス」〉



明治六年三月二十七日

貝珠殿ハ、「フレデリピ」二世ノ建タル宮ナリ、一千七百六十三年ヨリ、六十九年マテ、七ケ年ニテ成ル、普国此頃ハ、奥地利ニ兵ヲ用ヒ、国内カ疲レタル後ニ築ケルモノナリ、然レトモ此辺ノ諸宮中ニテ、尤モ大宮ナリ、宮中ノ室房二百余、今日ノ回覧セル所ハ、其五十ニスキス、前ナル庭園ニ石像ヲ建ルコト四百余、前後ノ王宮ニ石像ヲ叢立スル、如此ク多キヲミス、

宮ノ正面ノ堂ハ、柱壁ミナ貝ヲ以テ裝飾シ、中ニ珠玉ヲ嵌ス、夜間ニ燈火ヲ点スレハ、其光ハ貝面ニ反射シ、絢爛相映シテ、甚タ親美ナリト、此ニ二十年前、露国ヨリ送リタル陶瓶アリ、高サ六尺アリ、室房ニハ諸名器ヲ飾ルコト、他ノ王宮ト一例ナリ、中ニ「フレデリピ」維廉第一ノ居寝アリ、多ク名画ヲ蓄フ、此王ハ甚タ犬ヲ愛セリ、其居榻アリ、犬ノ嚙ミキリタルマニテ存ス



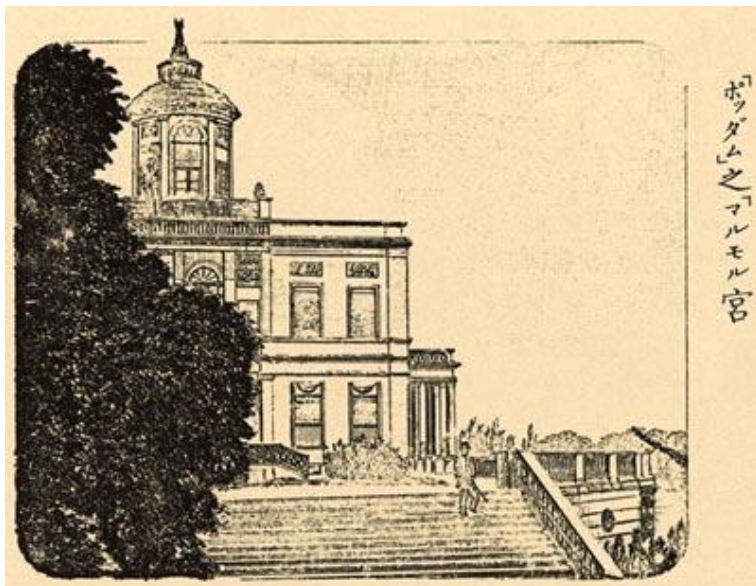
## 同「サンスーチー」宮之大跳水〈「フレデルヒ」之石像〉



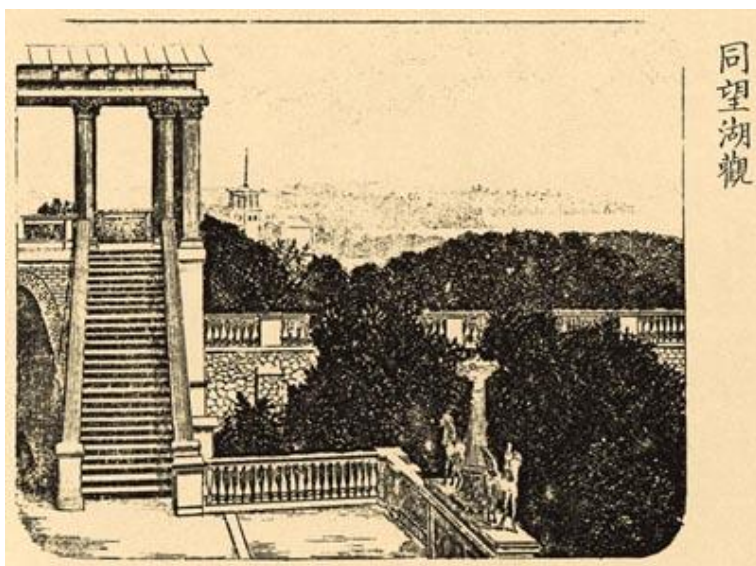
明治六年三月二十七日

此ニツ、キター宮アリ、「サンスーヂー」宮ト云、是ハ「ブレデリヒ」第二ノ造営セル居宮ニテ、王ハ一千七百八十六年八月十七日此宮ニテ歿セリ、王平日甚タ質素ニテ、死後ニハ一ノ新「シャツ」モナキニヨリ、侍臣ヨリ貸与シテ、埋葬ノ礼ヲ行ヒシ、其臨終ノトキニ倚リシ榻子アリ、此榻子ニテ血ヲ吐テ死セリ、其血痕ハ猶左傍ノ絹ニ染ミ、模糊トシテ存ス、其時ノマヽニテ飾置セリ、置時計モ、其時ニ巻キタルマヽニテ止メタリ、ミナ僂悪ナルモノニテ、国王ノ家什トモ覺ヘス、又東ナル一室ハ書房ナリ、是モ其居住ノ時ノマヽニテ存ス、「フレデリヒ」維廉第四ノ歿セシトキ、殯セル寢床アリ、其時ニ飾リシ革ノ籬ナドヲ載セタルマヽニテ、屏風ヲ囲ヒ存ス、当時ヲ回想シ、人ヲシテ悵然タラシム、西洋人ノ慎終追遠ノ情、其摯ナル如此キモノアリ

## 「ポツダム」之「マルモル」宮



## 同望湖觀



明治六年三月二十七日

是ヨリ東南ニ一宮アリ、白大理石ヲ以テ造築セルヲ以テ「マルモル、パレーズ」ト云、  
「フレデリヒ」維廉第三ノ築キシ宮ナリ、石柱石壁粹白ニテ、風致蕭洒タリ、埃及国ノ黄  
野ノ景ヲ写シタル画額、数枚ヲ掲ク、此宮ハ湖ニ望ミテ聳エ起ル、宮中ノ景甚タ清潔ナレ

トモ、雕刻ノ精、金珠ノ華然タルナシ、宮ノ欄ハ湖上ニ出ツ、欄ニヨリテ垂釣スヘシ、湖ハ大ナラス、我東京ノ不忍池ヨリモ小ナリ、

此辺ノ湖水ハ、乍チ窄ク亦広ク、若干ノ葫蘆形ヲ集メテ、勝境ヲ作ル、宮ノ左ニ長橋アリ、蜂腰ノ地峡ヲ越エ、岡丘洲角参差タリ、其洲角ヲ占メテ、諸貴族ノ別墅モアリ、今皇帝ノ別宮ハ、其尤モ風景ノ地ヲ選ミテ起ル